

写真/経営情報学部 システム情報学科 ロボット・組み込みソフトウェアコース

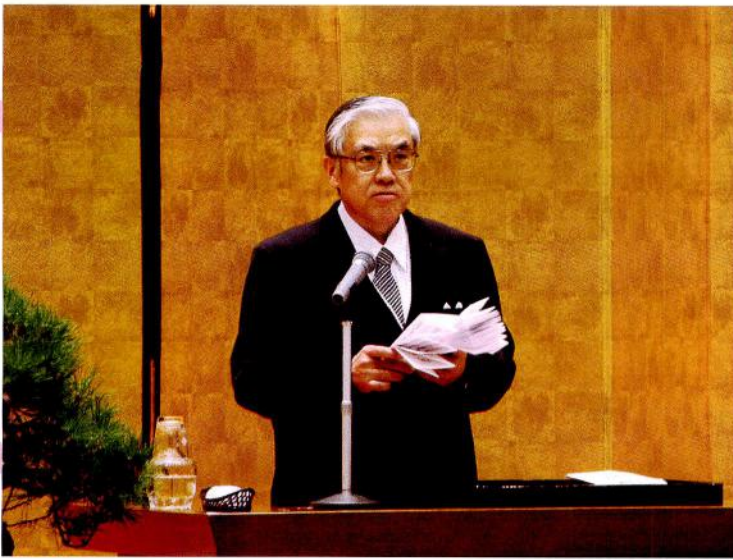


発行：北海道情報大学
〒069-0832
江別市西野幌59-2
TEL 011-385-4411
FAX 011-384-0134

目次

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 02 ■平成 21 年度入学式 | 26 ■第 3 回プログラミングコンテスト |
| 03 ■学長あいさつ | 28 ■南京大学聴講生 入学試験実施 |
| 04 ■新任教員あいさつ | 30 ■南京大学から編入学生 |
| 08 ■高大連携 | 30 ■保護者の会 役員会を開催 |
| 10 ■スタートアッププログラム | 31 ■南京大学 日本文化研修一行が来学 |
| 11 ■教員免許更新講習始まる | 32 ■留学生、春の宿泊研修報告 |
| 12 ■ドコモクリエイターズカップ優秀賞受賞 | 34 ■くじけず頑張ろう就カツ |
| 14 ■体育祭 | 35 ■ゼミ紹介 |
| 16 ■YOSAKOI ソーラン | 36 ■木戸数大君、TOEIC で高得点 |
| 18 ■図書館賞優秀作品紹介 | 37 ■平成 21 年度公開講座のご案内 |
| 22 ■漫画家になっちゃいました | 38 ■平成 20 年度決算の概要 |
| 24 ■クラブ紹介 | 40 ■大学行事等 |

平成21年度 入学式



祝辞を述べる松尾理事長



告辞を述べる長谷川学長

四月三日(金)午前一〇時から、本学松尾記念館講堂において、平成二十一年度北海道情報大学入学式が行われました。入学式の模様は、式場に設置されたテレビカメラ四台により、保護者室の二〇二教室と二〇四教室、そして全国にある通信教育部の各教育センターにも生中継され、多くの保護者や教職員に見守られる中、一、〇〇〇名(通信教育部生、

大学院生を含む)余りの新入生が、情報大学生として、新たな大学生活をスタートさせました。式場内の保護者席は、座席数の関係もあり多くは用意できませんでしたが、厳粛なうちに和やかな雰囲気の中な行われました。式の中では、入学生代表として、樋渡美里さん(情報メディア学科一年)が、南京大屠殺(南京大虐殺)の犠牲者として、包斎(南京大屠殺)編入学生代表として、包斎(南京大屠殺)さん(情報メディア学科三年)が、これからの学生生活の抱負について宣誓しました。式終了後には、新入生と保護者に対して、

式終了後には、新入生と保護者に対して、

- 式次第
- 一 修礼
 - 一 開式の辞
 - 一 学長告辞
 - 一 理事長祝辞
 - 一 祝辞・祝電披露
 - 一 教員紹介
 - 一 入学生代表の言葉(宣誓)
 - 一 南京大屠殺編入学生代表の言葉
 - 一 閉式の辞
 - 一 修礼

三郎前理事長の生誕九〇年を記念して収録されたDVDの上映を行い、その後、クラスごとに分かれて場所を教室に移し、新入生・保護者・クラス担任の顔合わせを兼ねたクラス別ミーティングが行われました。

(総務課)



DVD上映の様様

よろしくお願ひします 自己紹介をかねて



学長 谷川 淳

システム工学分野（電力システム）の解析、計画、運用、制御に関する分野）とエネルギーシステム分野です。電気エネルギーやその他のエネルギーの生産、輸送、分配を担う大規模システムについて、その最適な在り方を、ハード面（設備構成やネットワーク構成の在り方等）およびソフトウェア面（システムをどのように計画し、使いこなすのが、システムの本来目的達成のために最適な）また経済的にも優れているか等）から考えようとする分野です。そのためには、情報技術（IT）はなくてはならない中核的な技術となつています。最近新聞等をにぎわせている「スマート・グリッド」は、電力システムの運用にこれまで以上にITを応用し、より賢い

（スマートな）電力システム（グリッド）の在り方を確立しようとする考え方で、今後大きく展開するものと期待されています。このような専門分野で教育・研究に携わってきましたので、私もIT分野にはかなり近いところになっていたことになりました。

要になります。工学系の大学学部や高専で過ごしてきた私が、理工系にはなく文系に分類される北海道情報大学に赴任してきた訳ですが、これまで述べた私の専門分野からみると、「情報の総合大学」を掲げる本学の方向性とほとんど違和感がないと感じていただければ幸いです。

また、電力システム分野やエネルギーシステム分野では、それらのシステムを所有・運用している事業そのものの在り方についても、教育・研究の対象になっていきます。例えば、「電気料金の在り方は如何にあるべきか?」、「電気事業者が自由化された中で、新規事業者をも含めて、公平性・公共性・透明性を確保しながら電力システムを利用する仕組みをどうするか?」、「自由競争の環境下で、事業者をまたがる輸送設備の新増設を、誰がどのようにに負担するのか?」などの課題も守備範囲に入っています。したがって、必然的に、経済学や経営学との融合が必

要になります。ここで、これまでの私の経験から得た教訓をご紹介します。四点あります。

第三は、「なすべき決断は、早く出すべし」ということです。当然ながら、抽速は避ける必要がありませんが、決断すべきことがあるにもかかわらず決断を遅らせると、必ず周囲に大きな悪影響をもたらします。最後の第四は、「前向き思考であれ」ということです。課題に直面した時、前向き思考で対処するか、後ろ向き思考で対処するかで、例え全く同じ結論に到達したとしても、周りに与える影響には大差が出ます。何かの参考になれば幸いです。

学生諸君、保護者の皆様、卒業生および教職員の皆様、この度縁あって平成21年4月1日付で北海道情報大学学長に就任させていただきます。よろしくお願ひ申し上げます。私は、本学に赴任するまで、三三年間にわたる北海道大学（工学部、大学院工学研究科および情報科学研究科）での勤務経験の後、平成一六年からの五年間は函館工業高等専門学校（校長を務めておりました）

学生諸君には、是非大きな夢・目標を持って、その実現に向けて毎日を着実に歩んで欲しいと思います。現在、目的意識が希薄で、何がしかの夢・目標を持たない若者が増えているとの危惧が社会全体に広がっており、「我が国の将来に暗雲となるのでは」と懸念されています。本学の学生諸君については、「その懸念は杞憂である」と胸を張って言えるようでありたいと期待しています。

経済学や経営学との融合が必

要になります。ここで、これまでの私の経験から得た教訓をご紹介します。四点あります。

第三は、「なすべき決断は、早く出すべし」ということです。当然ながら、抽速は避ける必要がありませんが、決断すべきことがあるにもかかわらず決断を遅らせると、必ず周囲に大きな悪影響をもたらします。最後の第四は、「前向き思考であれ」ということです。課題に直面した時、前向き思考で対処するか、後ろ向き思考で対処するかで、例え全く同じ結論に到達したとしても、周りに与える影響には大差が出ます。何かの参考になれば幸いです。

言葉との出会いの日々



飯嶋美知子

情報メディア学部
情報メディア学科
准教授

「札幌ラーメン 広東ーウチナー味」
沖縄旅行の時に見た、あるラーメン屋さん
の看板です。

札幌ラーメンなのになぜ「広東(カントン)」?
しかもウチナー(おきなわ)味。
日本語教師という職業柄からではありません
が、おもしろい言葉、聞きなれない言葉、
目新しい言葉にはついひきつけられてしま
います。

北海道に来たのは、本学の採用試験の時
初めてです。寒さの厳しい一月初旬、天気予
報を見てまず驚きました。
「暴風雪」、「峠の情報」。
「ぼうふうせつ」という語感が新鮮。道路
交通情報が重要なのですね。

まだまだあります。
「本日のファイターズ」、「狸小路通り」、「道
産品」。
だんだん稲葉選手が気になってきました。
そして、本当はたぬぎがいて驚きました。長
野県在住の父へのメールに「道産品」と書き

ましたが、「何だ?」と聞いてきました。
札幌駅の近くに住んでおり、エスタの食
品街に寄ってから帰るのが日課になってい
ます。毎日が北海道展です。

「山親爺」。味わい深いネーミングです。「月
の石」。透明感のある美しい商品名。「雪鶴」。
雪の中を舞う鶴の姿が目につかぶようです。
「もりりん」。何と愛らしい名前。

授業でも、毎回おもしろい言葉に出会
います。情報メディア学科のクラスの「ピギ
ナーズセミナー」を担当していますが、カ
タカナの略語がたくさん出てきます。

「ライノベ」、「アニソン」、「オンゲー」、「モ
ンハン」、「ガンブラ」、「ハガレン」、「テニ
プリ」。

メディア学科の学生ならではの語彙だと
感じています。一番おもしろいと思った
のは、「コンビ開発」(「コンビユータゲーム
開発論」)。何でも短くしてしまうのですね。

留学生のクラスでは、珍回答が印象的です。
「〇〇さんは、今日欠席ですか?どうした
んですか?」

「地球を守りに行きました。」
おかげでこのクラスでは、「地球を守る」、
「正義の味方」、「変身する」、「仮面」、「マン
ト」、「スパイダーマン」等々、おおよそ日常

生活とは無縁の語彙が定着してしまいました。
北海道、そして北海道情報大学での日々は
まだ始まったばかりです。これからどんな言
葉と出会えるのか、楽しみです。



着任のごあいさつ



上杉 正人

経営情報学部
医療情報学科
教授

今年、4月より医療情報学科に着任しました上杉正人です。どうぞよろしく

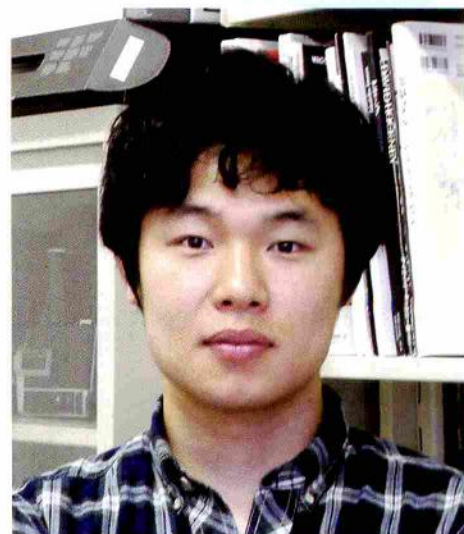
お願いいたします。紙面を借りまして簡単に自己紹介と抱負についてお話しさせていただきます。私は1980年に北海道大学医学部附属診療放射線技師学校を卒業して札幌を中心にいくつかの病院で診療放射線技師として一三年間勤務しました。当時、PCが普及し始め誰でもコンピュータを手に入れられる時代になり、私も当時三〇万円もしたコモドル社のPETに始まり、FM7やPC98などを購入して放射線のシミュレーションや画像解析などの研究、そしてデータベースソフトを用いてローカルな放射線検査予約・集計システムなどを作成して学会発表や論文投稿などをしていました。1993年に放射線技師学校の同期が起業したベンチャー会社に入社してプログラミングの趣味が本業に変化しました。当初3DやCAD(Computer-aided Detection)の開発を想定したのですが、社長の方針はPCの開発と普及でした(当時PCという言葉自体まだ一般的ではなかった)。入社当初はデータベース(ORACLE)などのように画像を管理するのか設計や開発などを行い、

その後ユーザの増加とともに保守部門の立ち上げや、営業支援部門の立ち上げなどの業務にも携わってきました。数人で始めた会社も一〇〇名に迫る会社になり、ある程度安定的に収益構造が確立されるまでに成長しました。2004年に七期後輩である北大医学部保健学科の小笠原教授から大学院の受験を勧められて2005年北海道大学医学研究科社会医学専攻の博士課程(医療情報学分野)に入学して医療用語の抽出や用語の意味関係を自動構築するアルゴリズムの開発と医用言語処理の研究を行いました。これまでの画像処理とは違った分野への挑戦ですが、処理に用いている手法は画像処理で培ってきた技術を流用してパターン認識的な発想で4年間研究を積み重ね、学位論文「医療用語の意味解析における数理科学的手法の適用—医学・医療文書から知識体系化を目指して—」にまとめ、本年三月に無事修了しました。大学院に入ってから教職の道も検討し始め、大学教員として研究はもちろんですが、これまで教育の経験をもっと活かしたいという思いから、この機会をいろいろの方から頂き、伝えることの面白さや難しさを経験してきました。特に学生に対する講義は有料の生涯教育セミナーの講義とは違い、いかに学生を講義内容に引き込むかという

難しさを感じています。学生の勉学へのモチベーションを高め維持する方法と日々勉強する習慣の定着化についてこれから有効な教育プログラムを構築したいと考えています。他の分野と同様に医療情報分野はIT技術から医療技術までカバーする範囲が広くかつそれらの進歩も早く、学び続ける必要があります。また、医療現場は専門家集団の集まりであり、また圧倒的多数派の看護師集団などの特徴を知り、医療情報システムの導入や管理ができるコミュニケーション技術も併せ持った人材の輩出を目標に考えています。

最後に研究についての抱負ですが、これまで大学院で研究してきた内容をより発展させたいと考えています。具体的には電子カルテ、学術論文やインターネット上のさまざまな医療文書から概念を抽出し、それぞれ概念関係を可視化できるアプリケーションの開発です。概念が可視化できれば診断や治療の標準化、効率的な医学医療の教育への応用が期待できます。概念の表現を一般的な用語に置き換えれば、一般市民への医学医療の啓蒙に役立つ可能性があります。まずその最初の研究は医療用語の抽出と整理です。医学医療の分野では用語が標準化されていないために辞書を構築するのが困難です。辞書を用いないで用語を抽出し意味関係のマップを構築し概念関係の可視化を研究目標にしています。北海道情報大学のさまざまな研究分野の先生方と一緒に研究できればと願っております。どうぞよろしくお願いいたします。

着任にあたって



大島慶太郎

情報メディア学部
情報メディア学科
講師

この4月から
情報メディア学
科に着任しまし
た大島慶太郎で
す。授業やゼミ

では、主に映像表現、アニメーションの分野
を担当しています。

私は、大学、大学院においてデザイン、映
像表現、美術教育を学んだ後に、札幌の映像
制作会社で、TVCMや教育番組、DVDソ
フト等の特にアニメーションを用いた映像コ
ンテンツの制作に携わってきました。また、
映像作家として映像作品の制作、発表も行っ
ています。作品は、主にアートフィルムやエ
クスペリメンタルフィルム（実験映像）とし
て、国内外の映画祭、美術展等で上映されて
います。

エクスペリメンタルフィルム（う）というと
何か聞き慣れないかもしれませんが、科学実
験等の記録映像と言う訳ではなく、例えば、
様々な表現技術を駆使してこれまでに見た事
のない映像を創作することであったり、今迄
の映像表現（撮影法や編集法）に対しての再
考や音楽、絵画、写真等、他の表現分野との
融合といった視点から先駆的な表現に試みる、
そう言った意味での「実験」です。欧米の映画
祭等では、よくこのエクスペリメンタル部門

が設けられていて、そこから生まれる新た
な映像表現が、最新のミュージックビデオ
やCM、映画タイトル、アニメーションコ
ンテンツ等における斬新な映像演出として
使われることが少なくありません。この様
な映像制作や作家活動を通して、これまで
幅広く様々な映像表現に触れてきました。

一九世紀末、フランスのリュミエール兄
弟やアメリカのエジソン等による映画の発
明から数えると、この約一〇〇年間で映像
の技術は急速に進歩し続け、現在では私達
の生活空間のあらゆる場面に浸透したと言
えます。タイムリーな話題としては、TV
放送がアナログから地上波デジタルへ移行
したり、ハイビジョンにより映像画質が向
上したりという過渡期ではあるものの、2
000年以降、デジタルビデオカメラやノ
ンリニア編集技術の普及により個人でも映
像制作を行う環境が十分に整い始め、映像
を作り出す設備（ハード）の面においては、
成熟期に入ったと言っても過言ではありま
せん。勿論、これからも映像を取り巻く技
術的な発展は更に進むことと思いますが、
今後は、様々な形態での映像コンテンツ（ソ
フト）の創出がより一層求められる時代と
なるのではないのでしょうか。

特に、アニメーションの分野においては、
個人でもグループでも、プロでもアマチュア
でも形式を問わず制作に取り組むことができ、
個人で制作したアニメーション作品が国際的
な映画祭等で受賞するといったケースもよく
見られる様になりました。また、日本のサブ
カルチャーや現代のアニメーション表現は、
世界的な注目を集め、今年2月の米国アカデ
ミー賞において、邦画初となる加藤久仁生監
督の「つみぎのいえ」が短編アニメーション
賞を受賞したのも記憶に新しいところです。

さて、私のこれ迄の活動や現代の映像分野
の動向等について述べてきましたが、学生の
皆さんへのメッセージを持って、この新任の
ご挨拶を終えたいと思います。

私が担当する映像、アニメーションに限ら
ず、何かをつくる時には、まず自由な発想で、
既存の表現や手法に捕われない、「自分の好
きなモノ、見てみたいモノをカタチにする」
そんな意識を持つて欲しいと思います。そし
て、そのカタチにする過程を大切にしてくだ
さい。始めは上手く行かなくとも、そのプロ
セスから得られる何かが、モノ作りには一番
大切なことなのです。これは、私自身も、一
映像作家として心がけていることでもありま
す。「自分の好きなモノを実現できる」皆さ
んは今そのスタート地点に立っています。皆
さんの自由な表現から生み出された作品が、
大きく花開き、新しい時代で活躍することを
目指して、私も教育研究に尽力して行きます。
学生の皆さん、教職員の皆様、これからど
うぞよろしく願います。

目標の実現に向けて



木村 達也

経営情報学部
先端経営学科
教授

本学が一番初めに来たのは、教員公募の面接試験に呼んで頂いた今年の1月

で、「バスがなくて困っていたので、このタクシーが来てくれて本当に助かりました」というお礼だった。

した学生もいた。私が教えていることを、本当に熱心に学ぼうとするその姿勢に、不安感よりも希望が大きく膨らんでいった。また当初不安に思った交通についても、分かつてみればまったく不安に思う必要はなく、野幌駅まで行けば、バスと列車を合わせて通勤に利用可能なものは一八時台で一二本、一九時台と二〇時台で九本、最終も二三時三〇分頃というものであった。

の前半だった。東京に住んでいたのも、飛行機の欠航などでせつかくの面接試験を逃してはいけないと、前日から新札幌のホテルに泊まり、新札幌からのバスで本学に向かったのだが、途中には雪野原が広がっていた（今思えば、酪農学園大学の農場だったのだが）。そして野幌の街並みを抜けたかと思うと、高速をくぐり情報大前のバス停に着いた。試験前の緊張のなかつたことは、雪の中に忽然と大学があるというものだった。そして、なんとか試験を終えて帰ろうと、情報大前のバス停の時刻表を見て驚いてしまった。一面の雪野原で（高速をくぐればすぐに街とは知らなかった）、ご容赦下さい、雪もちらつくなか五〇分後までバスがない。1月の北海道のバス停で五〇分間バスを待つのはつらい、大学に戻り事情を話して控え室かどこかの室内に居させてもらおうか、と思ったその時、一台のタクシーが走ってきた。その時の私には、そのタクシーが一筋の救いの光のように見え、実際にタクシーに乗車後、ドライバーの方にまず言ったのは行先ではなく

これが本学に最初に来た時の印象だったので、採用の通知を頂いての着任も不安を抱えてのものだった。着任時は大学のおかれている環境が分からないため、最初の印象が先入観として頭のなかを支配していたのだ。特に交通の面では、情報大前のバス停の最終のバスは一九時四二分発（後にバス停ではなく学校前から出発する二〇時一五分発のスクール便もあることを知った）なので、車を持っていない私としては、これに乗らないと大変なことになると、当初はあたふたと帰っていた。

このように私の本学への印象は、最初に来た時から大きく変わっている。不安が解消された今、私は本学の教員として応募の際から行いたかったこと、すなわち前職のシンクタンクの研究者としてはできなかった自分の持つテーマについて時間をかけて十分な研究を行うこと、そして自分の持つ知識を少しでもこれからの社会を担う学生に役立ててもらうこと、に注力したい。しかしこれらは、言うまでもなくいずれも自分一人ではできないことではない。他の教職員の方々、学生の皆さんほか多くの方に支えられてはじめて実現が可能なことである。私の目標の実現に向けて皆様方のお力添えを頂くことができれば、本当に幸せである。

しかし、大学での生活に慣れて来るにしたがって状況は変わっていった。各分野の見識の高い先生方の一端に加えて頂き、知的刺激を与えて頂いていることはもちろん、初めての職場で、おたおた、うろうろしている私を温かい心遣いで丁寧ないろいろと教えて下さっている職員の方々によって、不安は徐々に解消していった。そして私の講義、演習を履修している学生の面々も、私の先入観を変化させてくれた。私の講義、演習について質問などのため研究室を訪れてくれ、なかには夜二二時まで質問などを

した学生もいた。私が教えていることを、本当に熱心に学ぼうとするその姿勢に、不安感よりも希望が大きく膨らんでいった。また当初不安に思った交通についても、分かつてみればまったく不安に思う必要はなく、野幌駅まで行けば、バスと列車を合わせて通勤に利用可能なものは一八時台で一二本、一九時台と二〇時台で九本、最終も二三時三〇分頃というものであった。

●東京都立東村山高等学校との高大連携協定調印

昨年度試行された高大連携の成果を踏まえ、今年度から本格的な高大連携を実施するため東京都立東村山高等学校と高大連携の協定を結ぶこととなり、平成21年4月28日(火)東京都立東村山高等学校において調印が行われました。

本学通信教育部のプログラミング基礎の講義を東京都立東村山高等学校の3年生が受講するもので、インターネットメディア授業をインターネットを介して東京都立東村山高等学校の実習室で受講し高校3学年選択科目「情報B」の科目の一部として行われます。本協定は希望する生徒に単位修得ができる内容となっています。

インターネットを使った大学教育が教育環境を大きく進展させている現状のなか、本学の取り組みは遠隔地間の高大連携にも道を開き、高等学校教育のバリエーションアップに寄与していくものと考えています。



●東京都立久留米西高等学校との高大連携協定調印

今年の3月に実施された東京都高等学校情報教育研究会で「e-learning活用の実践及び内容の検証」と題した高大連携の成果発表を踏まえ、今年度から高大連携を実施するため東京都立久留米西高等学校と高大連携の協定を結ぶこととなり、平成21年5月26日(火)東京都立久留米西高等学校において調印が行われました。

本学通信教育部のプログラミング基礎及び情報リテラシーの講義を東京都立久留米西高等学校の3年生が受講するもので、インターネットメディア授業をインターネットを介して東京都立久留米西高等学校の実習室で受講し、高校3学年選択科目「情報と表現」及び同学年総合的な学習の時間「ワープロ検定」を履修する生徒を対象に行われます。本協定は希望する生徒に単位修得ができる内容となっています。

インターネットを使った大学教育が教育環境を大きく進展させている現状のなか、本学の取り組みは遠隔地間の高大連携にも道を開き、高等学校教育のバリエーションアップに寄与していくものと考えています。

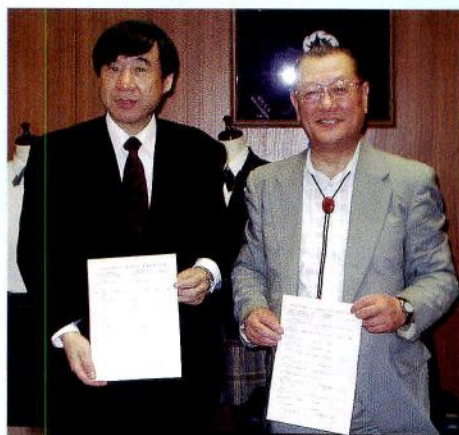


●東京都立富士森高等学校との高大連携協定調印

今年3月に行われた東京都高等学校情報教育研究会で「e-learning活用の実践及び内容の検証」と題した高大連携の成果発表を受けて、今年度から高大連携を実施するため東京都立富士森高等学校と高大連携の協定を結ぶこととなり、平成21年6月23日(火)東京都立富士森高等学校において調印が行われました。

本学通信教育部のプログラミング基礎及び初級中国語の講義を東京都立富士森高等学校の3年生が受講するもので、インターネットメディア授業をインターネットを介して東京都立富士森高等学校の実習室で受講し、高校3学年選択科目「情報B」と「初級中国語」を履修する生徒を対象に行われます。本協定は希望する生徒に単位修得ができる内容となっています。

インターネットを使った大学教育が教育環境を大きく進展させている現状のなか、本学の取り組みは遠隔地間の高大連携にも道を開き、高等学校教育のバリエーションアップに寄与していくものと考えています。



●東京都立淵江高等学校との高大連携協定調印

今年3月に行われた東京都高等学校情報教育研究会で「e-learning活用の実践及び内容の検証」と題した高大連携の成果発表を踏まえ、今年度から高大連携を実施するため東京都立淵江高等学校と高大連携の協定を結ぶこととなり、平成21年7月15日(水)東京都立淵江高等学校において調印が行われました。

本学通信教育部のプログラミング基礎の講義を東京都立淵江高等学校の1年生及び3年生が受講するもので、インターネットメディア授業をインターネットを介して東京都立淵江高等学校の実習室で受講し、高校1年生の必修選択科目と高校3年生の自由選択科目「情報A」を履修する生徒を対象に行われます。本協定は希望する生徒に単位修得ができる内容となっています。

インターネットを使った大学教育が教育環境を大きく進展させている現状のなか、本学の取り組みは遠隔地間の高大連携にも道を開き、高等学校教育のバリエーションアップに寄与していくものと考えています。



2009年度 春期スタートアッププログラム

スタートアッププログラム小委員会委員長

穴田 有一



教務課による履修説明会

4月3日、入学式に引き続いて行われた建学の精神を考えるビデオ上映およびクラスミーティングを皮切りに、4月6日から4月11日までの日程で春期スタートアッププログラムが行われました。スタートアッププログラムは、北海道情報大学の四年間の大学生活で何を目指し、何を学ぶのか自分に問い学習の動機づけを図るとともに、主体的に学習する姿勢を培うことを目的としています。4月、新生は不安と期待が入り混じったとても複雑な気持ちでスタート

アッププログラムは、北海道情報大学の四年間の大学生活で何を学ぶのか自分に問い学習の動機づけを図るとともに、主体的に学習する姿勢を培うことを目的としています。4月、新生は不安と期待が入り混じったとても複雑な気持ちでスタート

アッププログラムは、北海道情報大学の四年間の大学生活で何を学ぶのか自分に問い学習の動機づけを図るとともに、主体的に学習する姿勢を培うことを目的としています。4月、新生は不安と期待が入り混じったとても複雑な気持ちでスタートアッププログラムは、北海道情報大学の四年間の大学生活で何を学ぶのか自分に問い学習の動機づけを図るとともに、主体的に学習する姿勢を培うことを目的としています。4月、新生は不安と期待が入り混じったとても複雑な気持ちでスタートアッププログラムは、北海道情報大学の四年間の大学生活で何を学ぶのか自分に問い学習の動機づけを図るとともに、主体的に学習する姿勢を培うことを目的としています。4月、新生は不安と期待が入り混じったとても複雑な気持ちでスタート

「学内サービス・学内施設の紹介と利用体験」、「履修指導」、「大学の授業への準備」、そして宿泊研修として行われる「クラス担任と学生および学生同士の親睦」に至る五つの柱に沿って、いくつかのプログラムが組み込まれました。この十数年間に大学進学率は上昇を続け、今日では約50%に達しています。大学は学生を主役とする教育と研究の場になるとともに、स्टUDENT・スキル教育、スチュディンツ・ソーシャル・スキル教育を充実させる必要に迫られています。本学では、スタートアッププログラムがそのような教育のスタートになります。今年度は、「学生生活ガイダンス」として、江別警察署にお願いし、昨年度まで行ってきた交通安全・社会生活講話に大麻などの薬物啓発講話を加えていただきました。また、今年度初めて江別消防署にお願いして、救急救命に関する講話も行いました。二年生以上についても新たに「学生生活ガイダンス」を設け、江別警察署に薬物啓発などの

講話をお願いしました。一方、将来の進路を見据えた学習の動機づけを図るために、日立ビジネスソリューション㈱代表取締役社長、木村伊九夫氏の講演「人生のそれぞれの転機で思ったこと」、および住商情報システム㈱専務取締役、油谷泉氏の講演「IT業界に生きる(挫折の履歴書)」が行われ、人生という尺度から現在の学生生活を考える機会を持つてもらいました。このように、従来にも増して生活面の啓発と大学生活の動機づけに力を入れたのが、今年度の春期スタートアッププログラムの特徴といえるでしょう。新生にとつて、スタートアッププログラムの一週間は高校生から大学生に変わる「誕生日」ですが、これだけの期間で突然「生徒」から「学生」に変身できるわけではありません。この後の授業や課外活動を通して「学生」に成長していくこととなります。私たち教職員は、そのような成長のお手伝いをしたいと考えています。

平成21年度北海道情報大学教員免許状更新講習が始まりました

2007(平成19)年6月の改正教育職員免許法の成立により、2009(平成21)年4月から教員免許更新制が導入されることになりました。

教員免許更新制では、教員免許状に一〇年間の有効期限が付き、平成21年3月31日以前の免許状取得者にも更新制の基本的な枠組が適用されます。更新制の目的は最新の知識技能を身に付けることであり、このため、二年間で三〇時間の更

新講習(必修領域二二時間+選択領域一八時間)の受講が必要となります。

本学では、教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項(選択領域：六時間)を一四講座開設しております。

対面講習に加え、本学の得意分野であるインターネットを利用したe-Learning講習も開設し、受講生の利便性を考慮した受講会場や受講形式の異なる講座を用意しました。

対面講習

No.	講座名	授業形態	場所	講座日程	開講時間	回数	受講料	主な受講対象者
1	e-Learningの事例紹介	実習+講義	本学実習室等	8月7日(金)	09:00~16:15	1回	5,000円	高等学校教諭(情報)
2	MS Officeを使いこなす	実習	本学実習室	8月7日(金)	09:00~16:15	1回	5,000円	小中高教諭
3	フリーウェアの利用と教材作成	実習	本学実習室	8月8日(土)	09:00~16:15	1回	5,000円	高等学校教諭(情報)
4	食と健康シリーズ	講義	札幌サテライト	6月9日(火), 7月14日(火), 8月4日(火), 9月8日(火)	18:30~20:00	4回	5,000円(4回分)	小中高教諭
5	マーケティングを学ぼう	講義	札幌サテライト	8月24日(月), 8月31日(月), 9月7日(月), 9月14日(月)	18:30~20:00	4回	5,000円(4回分)	高等学校教諭(商業)

e-Learning講習(認定試験は対面で行います。年3回・全国10会場予定)

No.	講座名	認定試験実施日	講座日程	受講時間	受講料	主な受講対象者
1	情報リテラシー(初級編)	1回目: 7/25(土) 2回目: 11/21(土) 3回目: 1/23(土)	6月1日(月)~1月17日(日)	受講時間は希望試験日の約2週間前までに6時間以上受講 (受講時間が6時間に達しない場合は、希望試験日に受験できません。)	5,000円	小中高教諭
2	情報リテラシー(中級編)		6月1日(月)~1月17日(日)		5,000円	小中高教諭
3	情報リテラシー(上級編)		6月1日(月)~1月17日(日)		5,000円	小中高教諭
4	コミュニケーション概論1		6月1日(月)~1月17日(日)		5,000円	小中高教諭
5	コミュニケーション概論2		6月1日(月)~1月17日(日)		5,000円	小中高教諭
6	コミュニケーション概論3		6月1日(月)~1月17日(日)		5,000円	小中高教諭
7	コンピュータアーキテクチャ1		6月1日(月)~1月17日(日)		5,000円	高等学校教諭(情報)
8	コンピュータアーキテクチャ2		6月1日(月)~1月17日(日)		5,000円	高等学校教諭(情報)
9	コンピュータアーキテクチャ3		6月1日(月)~1月17日(日)		5,000円	高等学校教諭(情報)



札幌サテライトで行われた「食と健康シリーズ」の様子

●本学会場での講習：3講座

・最新のコンピュータを設置した実習室を利用した講座

●公開講座を利用した平日夜間講習：2講座

・公開講座を利用した札幌サテライト会場での講座

●インターネットを利用したe-Learning講習

：9講座

・自宅でインターネットを利用した講座



ドコモ クリエイターズカップ 2008 ショート動画部門 優秀賞受賞

受賞した高橋達也君(右)

情報メディア学科 高橋 達也 君

平成21年3月に最終審査結果発表会が行われた『ドコモクリエイターズカップ2008』において、情報メディア学科4年生の高橋達也君(作品名:雪とサンタとクリスマス、作者名:ナニヲ)が、見事、ショート動画部門・学生の部で優秀賞を受賞しました。

今回のドコモクリエイターズカップでは、高橋君の他にも本学から4作品が最終審査まで勝ち残ることができました。

これは、本学学生の作品が、学外からも高く評価されはじめた証拠となるものです。本学は、今後もこのようなコンテンツにどんどんチャレンジしていきます。



作品の紹介 (作品名: 雪とサン
タとクリスマス、作者名: J.C.B)

雪が舞い降りて、その中をサン
タがトナカイの引くソリに乗って
空高く駆けていきます。そのあと、
白い氷の花を咲かせていくという
『奇跡IIメルヘン』を表現しました。

受賞の喜び

本作品は、ADOBE AFTER EFFECTS
CS3(以下、AE)という映像編集ソ
フトを使用して制作しました。AEは、
講義(情報メディア演習Ⅳ)で学
ぶことができ、今回受賞した作品
は、この講義で制作した課題がベ
ースになっています。制作期間は
企画・絵コンテ作成から動画作成・
編集まで、およそ3週間ほど掛
かりました。動画をパソコン用の
データから携帯用のデータにエン
コード(変換)するときに、画質が
劣化してしまうというトラブルが
あり、それを防ぐ為の編集に苦勞
しました。ドコモクリエイターズ
カップは、他校からも、とてもレ
ベルの高い作品が数多く集められ
ていましたので、受賞の決定を聞
いたときは、本当に驚きました。
今回の受賞を機に、更なる技術の
向上に努めていきたいと思えます。



■ドコモクリエイターズカップとは?!

FLASH, iアプリ, iモーション等を使用したコンテ
ツで、ケータイがもっとたのしくなる「利用シーン
アイデア」を競うコンテストです。NTTドコモが主催で、
2004年度から行われています。

・ドコモクリエイターズカップ2008
<http://ave.docomocafe.com/cup2008/>

※「iアプリ」「iモーション」は、NTTドコモの登録商
標です。

※「Flash」はAdobe Systems, Incorporated. の米国お
よびその他の国における登録商標です。



祭



成功の陰にはスタッフの努力が...



気軽に楽しめて人気だった〈ダーツ〉

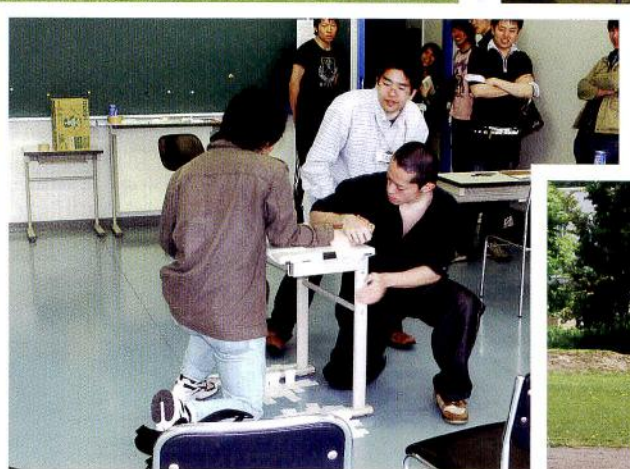
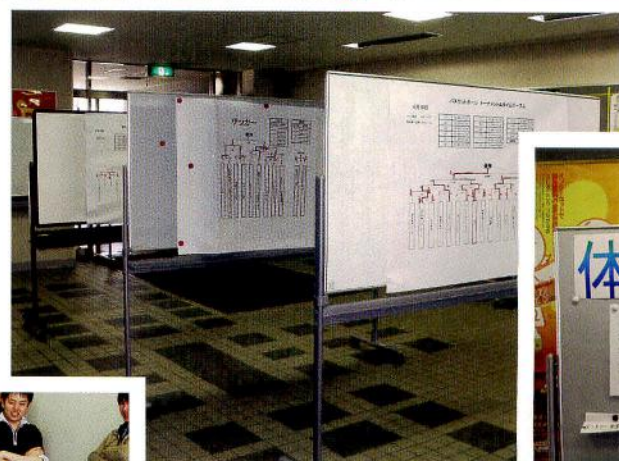
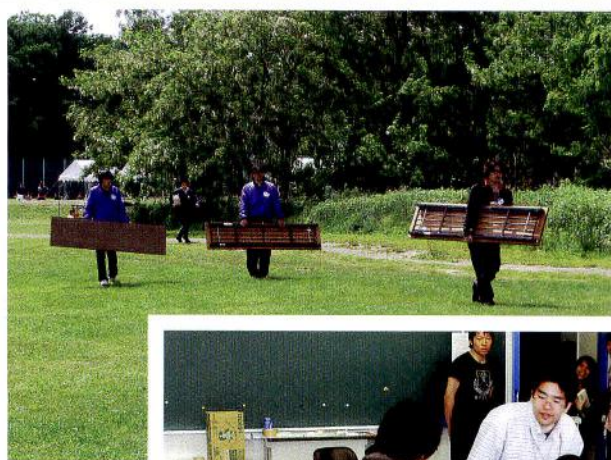
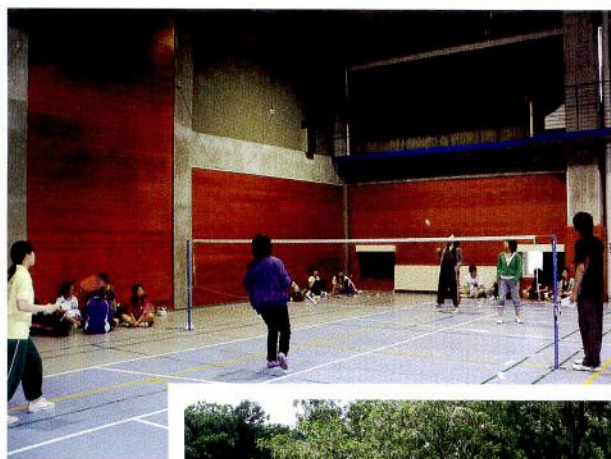
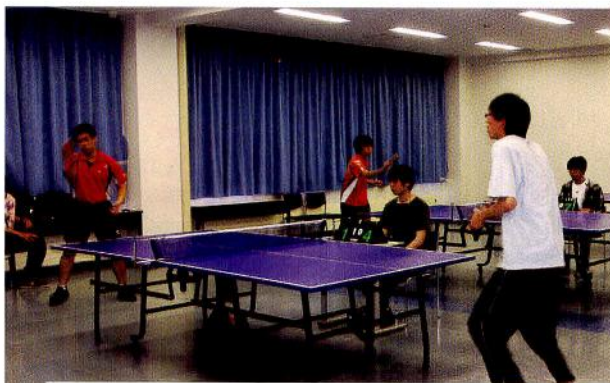
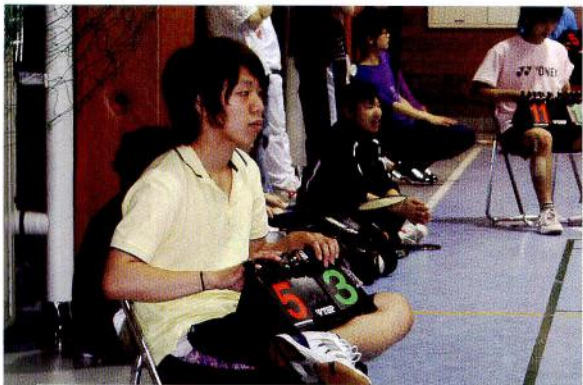


今年、出番がなかったテニスボールはフィールドにポツと...

6月18日(木)
19日(金)

第19回

体
育



文字通り力勝負の
アームレスリング

第19回体育祭を終えて

学生実行委員会委員長 山下 揮久

6月18日、19日に行うことができました、北海道情報大学第19回体育祭ですが、心配していた天候も全日晴れとなり、例年にないくらいの体育祭日和になりました。

日頃、講義の合間や放課後に練習している学生の姿も見かける事が多く、実行委員会だけではなく沢山の学生や教職員の方々が参加することで、体育祭だけでなく学内全体をより盛り上げることができ、非常に素晴らしい体育祭だったと感じました。

これも学生達や教職員の皆様のご理解とご協力の賜物と思います。ありがとうございました。

次はいよいよ大学祭です。これまでにない斬新な企画と実行力で楽しいイベントにしたいと思います。学生、教職員の皆様の一層のご理解とご協力をお願い致します。



情熱の第18回YOSAKOIソーラン祭り

YOSAKOIソーランサークル部長 南部 太郎

我らYOSAKOIソーランサークルは、今年も例年参加しているYOSAKOIソーラン祭りに参加してきました。今年はやる気に満ち溢れた6名の新入生を迎え、総勢30名で本祭の舞台へと立つことができました。

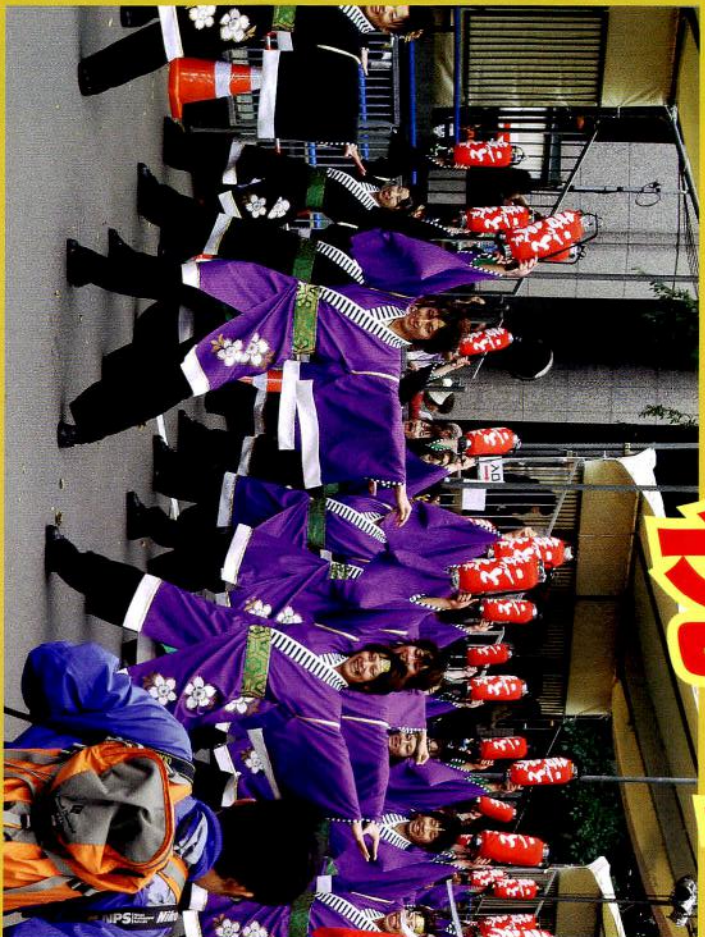
今年は例年では珍しく天気に恵まれて、暖かい天気と熱い歓声の下、最高の舞台上で演舞することができました。そして、今年は兼ねてからの悲願であった3年連続ファイナル出場という快挙を成し遂げることができました。私もファイナル出場決定の吉報を聞いた時、3年間の努力と今までの苦勞の思い出を振り返った瞬間自然と喜びで涙がこぼれてしまいました。このサークルに入部してからファイナルの舞台にしか立っていない自分ですが、この舞台に立ってなかった時代の先輩たちの苦勞も知り、ファイナルに出場できることがどれだけすごいことなのか、今回改めて感じる事ができました。

最高の経験をさせてくれた、関係者の皆様、そして応援してくれた全ての皆様には、心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。これからは更にサークルの人数も増え、更により良い結果を出してくれることでしょう。私たちが培ったものを後輩へと繋げ、そしていつの日かYOSAKOIソーランの頂点である大賞を獲ることができる日を目指して、サークル一同これからも全力で頑張っていきたいと思ひます。





祝・札幌商工



3年

第18回
YOSAKOI
パーティー

6.10~6.14

優秀賞

渡辺真子「捨て犬を救う街」

経営情報学部 医療情報学科 那須 美穂

この本を選んだ理由は二つあります。一つめは、動物が好きだからという理由。もうひとつは、今こうして勉強している間にも、全国でたくさん動物（主に犬・猫）が殺処分されているという悲惨さを知ってもらうためです。収容した動物を殺処分する日本と、逆に殺処分せず、そのような動物たちを救うサンフランシスコ。「捨て犬を救う街」サンフランシスコでは、多くの動物が新しい人生と出会っている。このすばらしい取り組みを、この感想を通して、是非知ってもらいたい。

いる。買い手が見つからなかった・引越すため・病気がなったから・年をとったからなど、人間の身勝手な行動で捨てられている。自分が捨てられたとも知らず、去っていく飼い主を待ち続ける犬。そんな犬を見向きもせず、次の新しい犬を探しに行く飼い主。この悲しすぎる現状が実際、毎日繰り返されている。もちろん返還や一般譲渡の機会があるが、データを見ると猫の返還はほとんどゼロに等しく、一般譲渡は犬・猫ともほんの一部にすぎない。残った犬・猫は殺処分、または動物実験に使われている。

「ここは動物を苦しませずに殺してくれる」、つまり「安楽死」で処分すると思ひ込んでいる。しかし実際はとても苦しく、動物たちはもがき苦しみながら死んでいく。処分の過程は、三畳ほどの部屋に約二〇頭を入れ、鍵をかける。ビューという高音とともに炭酸ガスが狭いスペースに充填し、約五分で呼吸中枢が麻痺し、自発呼吸が止まる。全部の死亡を確認し、次に、高温の焼却炉で骨がさらさらの状態になるまで焼く。また、死に切れなかった若い犬や生まれたばかりの猫は、瀕死の状態（生きている）のまま焼かれてしまう。砂となった骨は、ほんの少しの量が慰霊碑に収められるだけで、残りは産業廃棄物（ゴミ）として遺棄される。焼却炉の炎は一年中消えることはない。月曜日から金曜日まで、処分は毎日行わ

れている。この処分の苦しさを人間の場合で言い換えると、「窒息」。つまり、ビニール袋を頭からかぶり、吐いた二酸化炭素を吸い続けるということと同じである。炭酸ガスで殺処分する理由は、一度に大量の犬と猫を処理でき、しかも一番安価で手軽な上、半額の国庫補助金が受けられるためだという。

そんな動物たちを救う街がある。サンフランシスコだ。この街にあるSPCA（対動物虐待防止協会）は民間の寄付金で成り立つ非営利団体で、1868年に設立され、社会生活に適合不能なほどの性質あるいは治癒の見込みがない病気の場合を除いては、安楽死をさせないというポリシーを掲げたシェルターである。二〇年前ほど前に「No Kill City（殺さない街）」の夢の実現に向けて動き始めた。それからというもの、1994年4月1日以降、譲渡に適するものは一頭たりとも殺していない。そして、年間約五千頭の元捨て犬・猫が新しい家庭を得ている。この好成绩の秘密はたくさんある。そのいくつかを紹介すると、①シェルトターの動物を引き取るのが、生命を救う意義深いことだという認識を、社会に広める。②市民が犬や猫を飼いやすくするために、あらゆるサポートを供給している。③飼いは始めてからも、より快適に共同生活を営むためのサポートを行う：などが挙げられる。SPCAは飼い主のニーズに先回りして、上手に充たされていることが大きな魅力の一つでもある。この犬・猫たちは健康が保障されていて、付属の病院で避妊・去勢手術とワクチンの接種、各種検査も早々に済んでいる。避妊・去勢手術にはとても熱心で、サンフランシスコ市の猫（野良でも飼い猫でも可）を手術のために連れてきた人は、ご褒美として五ドルのキャッシュをもらうことができる。また、引き取り後三〇日間の医療に關しては無料。成犬に關しては基本的なしつけができてい

る上に、しつけカウンセリン

グは常時行われている。

そしてもう一つ、SPCAと

同じく動物シェルターである
ASO(動物保護管理課)とい

うものがある。ここは政府か

らの予算でまかなわれていて、

1989年に、SPCAが全て

を任されていた市の動物たち

の保護管理の責務を引き継ぐ

ために生まれたので、保護収

容しきれなくなった動物に限

り、安楽死を行っている。一

年間で保護収容した動物(犬・

猫以外の動物も含む)一万四

五九〇頭(匹)のうち、二一

三八頭(匹)を一般譲渡して

いる。ここでは、犬に運動を

させ、猫と遊ぶボランティア

募集、避妊・去勢手術の推奨、
幼すぎて自活できない動物を
成長するまで育てる...といっ
た活動を行っており、SPCA
と同様に「動物たちを殺さな
い」目的のための施設である。

サンフランシスコにある、動
物に関するサービスの一つに
「ヒューメイン・エデュケー
ション・プログラム」という
ものがある。これは動物との
触れ合いを通して、子ども達
の中に思いやりや慈しみの心
を育てようとするものである。
SPCAの職員が年齢別に分け

たクラスに出張し、動物の生

態、接し方、育て方などを教

える。その他に、増えすぎた

犬・猫の問題・絶滅危機の種

の保存・環境について一緒に

考える。この試みを行い始め

た理由は、残忍な犯罪を犯す

人物は、子どもの頃に動物虐

待の経験者だったパーセンテ

ージが高いという統計の結果

からである。このことから、

幼少時から家庭で小動物を飼

い、温もりを確かめて命を実

感させることが大切であると

いう。

上記(「ヒューメイン・エ
デュケーション・プログラム」
以外のサービスに、里親探し
のための「アダプション・ア
ウトリーチ」、シェルターに

保護された犬・猫に、年間を
通じて無料で手術を行う「避
妊・去勢プログラム」、野良
猫を安全に捕まえるための「フ
エラル・キャット・アシスタ
ンス・プログラム」、ホーム

レスの人が飼う犬と猫は、病
気であれ怪我であれ無料で治
療してくれる「ホームレス・
サービス・プログラム」など
がある。

このようなサンフランシス
コの動物保護に対する活動を

見ていると、日本はその普及

率がとても低いことが分かる。

日本人は一般的に避妊と去勢

について、「わざわざする必
要はない」「自然じゃない」

など前向きではない意見を持
つ人が多い。アメリカでもそ

のような人は多いが、獣医師
が避妊・去勢手術を勧める点

は、日本と大きく違うところ
である(日本の獣医師は勧め

ない)。動物たちを守るため
には、動物を捨てない・捨て

そうな人には飼わせない・そ
れ以上増やさない・店舗で買

うのではなく、保護収容の施
設から引き取る。これを理解

してくる人が増えれば、多
くの命を救うことができる。

上記に、日本は動物保護にあ
まり関心がないというような

ことを記述しましたが、全て
の人に当てはまるわけではな

い。そういった動物たちを自
ら保護し、世話をするととい

つた優しい心を持った人もた
くさんいる。その例を二人取り
上げる。

一人目は、この本の筆者の

友人である。彼女は動物病院

の前に捨てられていた五匹の
猫のうち、成猫二匹を引き取
り(すでに三匹飼っていたの

で、合計五匹)、子猫二匹は

知り合いに世話をしてもらう

ことになった(あとの一匹に
ついては記述されていない)。

天気が悪いと外猫がどうして

いるか心を痛め、手なずけた

野良猫を捕まえては去勢手術

をして放している。彼女は喘

息があり、医者から猫を処分

するように言われているが、
「負けません」と強い気持ち
で頑張っている。

二人目は、著者と仲良しの

おじさんである。彼は自宅の

駐車場にプレハブの猫小屋を
建て、順次、手術を施した。

ついには近所に動物用の墓所

を購入し、自分の元に来て死
んだ動物たちを埋葬し、花を

供える。ちなみに彼の妻は、
犬担当だという。

以上までがこの本の内容を
簡単にまとめたものです。こ

の本はとても内容が濃く、捨
てられた動物たちが歩む過程、
日本とサンフランシスコの動

物問題対策の積極性の違い、
心優しい人の活動:など、動
物問題を様々な角度から取り
上げている。読み終えて一番
に感じたことは、あまりにも
処分される動物が多いという
ことです。一日に約一五〇〇

頭が処分されていると知り、

日本は人間の命以外は簡単に

捨ててしまう国なのだと残念
に思った。少しでも多くの命

を救うために私たちが出来そ
うな対策を考えてみた。

第一に思いついたことは、
サンフランシスコのように、
シェルターを日本各地に設置

するということ。そして、
そこに連れて来られた動物た
ちの健康を保持し、定期的に

一般譲渡の機会を作るといっ
た活動を行うことで、新しい
家族と出会える動物が増える

と思います。

また、むやみに数を増やさ
ない(特にブリーダー)。買

い手がいないまま成長して、
売れなくなったという理由で

連れて来られた動物は少なく
ないからです。犬や猫は人間

の何倍もの速さで成長するの
で、ある程度大きくなると売

れないのは目に見えています。
本にも記述されています。

が、これから動物を飼おうと
している人はペットショップ

で買うのではなく、収容所か
ら貰ってくるのが動物にと

っても、貰う人にとっても
最適な方法です。ペットショ

ップではそこにいる犬種に限

られているが、収容所には様々な犬種がいて、年齢もばらばらなので、自分の希望年齢の犬・猫を探すことができません（特に、これから動物を飼おうとしているお年寄りの方）。また、ほとんどの動物が一度家庭で育てられているので、家庭環境に馴染みやすく、しつけもできています。そして何より、無料で貰えるということです。

サンフランシスコのように設備をしっかりと整えて、ボランティアをたくさん募り、多種多様なサービスを提供できるようななどと、完璧なこととは求めませんが、少しずつでもいいので、一人でも多くの人に来ることから始めていってほしいです。

最近動物に対する愛情が薄れているように見えます。可愛いからという理由で飼い、成長したら世話が大変になったから捨てる。このように、動物を自分のおもちやのように扱う人間が増えていることが、動物問題の原因の一つではないでしょうか。動物は家族の一員なので、何があっても最後まで見なければいけません。最期を看取ることで、

きちんと自分の役割を果たしたことになりませう。そこまで育てていく自信のない人は、初めから飼わないことが両者にとつて幸せなことだと思えます。ただ「可愛い」、「欲しい」といった理由では、その大きな責任を果たすことは絶対にできません。いつでもどこでも簡単に動物を飼う事ができる時代の最大の欠点だと私は思います。

動物を飼うということは本当に大変なことです。動物を飼っていた経験があるので、その大変さは本当に実感しました。自分の時間を削ってまでも動物の面倒を見なくてはならないし、動物は自分でご飯を得ることができないので、新鮮なエサや水の補充が欠かせません。宿泊に行く

にしても、長期間家を空けることができないので、本当に不自由です。

まずは自分の家庭環境が飼うのに適しているのかを知り、適していれば、動物の育て方を把握した上で飼うように心がけてほしいです（勿論、家族の同意は必須）。そして、自分はこれから一つのかけがえのない命を預かるという責任を忘れないことです。どんなに小さな動物でも、人間と同じく命を持っています。その命が毎日どこかで簡単に捨てられ、処分されています。

この悲惨さは、実際に現場を見ないと実感が湧かないかもしれませう。しかし、一生のうちの一部を共に過ごす家族です。お互いに助け合って生きていくことが、本来の求め

られている生活だと思えます。

この本を通じて捨て犬・猫たちの悲惨さを知り、胸が痛くなりました。しかし、その動物たちを積極的に救おうとしている街があるということに、感動を得ることもできました。サンフランシスコのように、市民みんなが協力して活動することで大きな功績を残していることは、日本への大きな刺激になると思います。

「必死にやっつて無理なことはない」と私はいつも思っています。日本でもこの問題に取り組む人が増えれば、サンフランシスコのレベルも夢ではありませう。たくさん捨て犬・猫が新しい家庭を待っています。私は今から、小さなことでも出来ることから始めます。

さのある物語である。

この「妊娠カレンダー」は、日記形式で話が進んでいく。日記は主人公である妹が綴っており、姉の妊娠が分かった日から始まる。妹は、ある日からアメリカ産のグレープフルーツでジャムを作り始める。昔、どこかで見た「危険な輸入食品」「出荷までに三種類の毒薬に漬けられるグレープフルーツ」「防かび剤PBIには強力な発癌性。人間の染色体そのものを破壊する」という記事をぼんやり思い出しながら。その毒に染まっていると思われるグレープフルーツのジャムを、妊娠している姉に食べさせる。そして、妹が生まれた赤ん坊に会いに行こうとするとどこで物語は終わる。

この作品を読んで感じたのは、「無感覚さ」と「冷静さ」である。姉は「妊娠」という変化を遂げている最中である。「妊娠」とは、受け入れるということである。それを彼女たちは分かっているし、自分の子供は着々と誕生に向かって成長していくことも自覚している。だが、ふたりはその変化を受け入れず、静かに拒

優秀賞

小川洋子「妊娠カレンダー」を読んで

経営情報学部 先端経営学科 藤井 由紀子

最近の小川洋子の作品で有名なのは「博士の愛した数式」だ。この作品は悲しく、そし

て暖かい物語であるが、この「妊娠カレンダー」は、「博士の愛した数式」のように心温

まる物語ではない。命の尊さや、生命誕生の喜びというよりも、どこか不気味さや残酷

さのある物語である。

絶しているように見える。そんな矛盾が自分たちの中に存在することを、ふたりは冷静にどこかで分かっているように見える。自分たちのことなのに、自分たちのことではないかのように、傍観者のような雰囲気を感じてしまう。

姉はもともと精神的に問題を抱えていると思われる描写がされている。その姉が妊娠やつわりによって、精神的にも身体的にも変化していく。その姉に、妹は従順でいる。姉が料理に文句をつけようと、気遣いを無下にされようと、反発せず、素直でいる。グレイプフルーツのジャムを作ったことだけが、妹のただひとつの静かな反抗なのだと思う。意識的にアメリカ産のグレイプフルーツを買い、それでジャムを作り、姉に食べてもらう。胎児の染色体は破壊されているのだろうかと考ええる。ジャムを作ったことも、姉の要求があったからである。日常の中にある非日常がこの作品の中にあるが、妹の持っているような種類の「悪意」や、読んでいて感じた「無感覚さ」は、私たちの中にもあると思う。

「悪意」について述べると、妹はグレイプフルーツジャムを作ることによって、密かに抱いている姉や胎児への気持ちを具現化している。その毒に染まったジャムで、胎児の染色体を破壊しようとしている。そして、最後には、染色体の破壊された赤ん坊に会いに、赤ん坊に会いに行くというところで、その自分の汚い部分を認め、受け入れようとしているとは考えられないだろうか。

私の中にも、妹が持っているような「悪意」があるのではないかと、読み進めている間感じていた。普段はなかなか自分の中の「悪意」の存在に気づいたり、認めたりする機会はないが、大抵その汚い部分と向き合うことから逃げていると思う。妹が毒に染まったジャムで胎児の染色体を破壊しようとしたことを決して肯定するわけではないが、私は妹のように、自分の汚い部分と真っ直ぐ向き合えたことがあるのだろうかと感じた。「無感覚さ」について述べる。

作品の中では示唆されていないが、姉は、毒に染まっているジャムだということに、うすうす気がついていたのでないかと思う。

妹は姉の妊娠という変化に戸惑っているが、姉自身も、妊娠ということに恐怖を感じている。妊娠というのは、選ぶ自由がないこと、つまり受け入れるということなのである。それを姉は分かっているが、同時にその不自由さに抗いたかったのだと思う。そういう気持ちがあるからこそ、妹の作ったジャムを食べ、静かに妊娠という変化に反抗していたのではないだろうか。妹の悪意に気づいていながら、グレイプフルーツのジャムを食べるといふ行為は、「無感覚さ」ではないだろうか。

さらに、「無感覚さ」について思ったことがある。この作品の中の人物を眺めていると、私たちはあまりにも常識に頼りすぎているのではないかという疑問を感じた。

妹は、姉の妊娠が分かった日、「本当に、姉と義兄の間に子供が生まれるということか、おめでたいのだろうか」と言っている。この言葉から

「無感覚さ」を感じずにはいられないと思う。乱暴な言い方をすれば、「妊娠はおめでたい」というのは「常識」である。私たちはその常識を信じて疑わない。しかし、それだけではないのだ。選ぶ自由がなく、そして受け入れなくてはならない。そんな理不尽な感情と隣り合わせでありながら、自分の体には違う生命が宿っているのである。

私たちは日常的にさまざまなニュースを見聞きする。政治的な問題から、殺人問題まで、あらゆるニュースである。出来事は、間接的であれ私たちに関係していることなのだが、どこか他人事のように感じてしまう「無感覚さ」があると思う。

私たちは、いいことはいい、悪いことは悪いと当然判断できているが、自分に直接的に関わりのない出来事となると、とても無責任な気がする。そしてその無責任さはすでに「当たり前」になってしまっている。しかし、無責任といっても誰かから責められるわけではないし、ましてや自分が悪いというわけではないので、「無感覚さ」が悪いというわけ

ではない。殺人事件のニュースが流れれば、「ひどい」「こわい」と思うのは当然だとも思う。しかし私たちはあまりにもそういう「常識」に頼りすぎていないだろうか。

政治に関してもそうだと思う。「おかしい」「今の状態がよくない」と判断はする。だが、だからといってそれ以上憤慨するわけではない。それが私たちの「無感覚さ」だと思ふ。私たちは傍観者ではないのに、おのずと楽な方向に流れて行ってしまふ。その状態に疑問を感じないというところが、いまの社会では問題なのではないだろうか。

日常の中に潜む非日常を描き、私たちが普段見過ごしているものに気づかせる。見過ごすという「無感覚さ」に、「妊娠」というテーマで何かを問いかけています。そんな作品だと私は感じた。





酪農に青春を懸けた高校生たちが送る
新感覚酪農コメディ!!

北海道から皆様へ。
酒田 歩

雑誌名：マガジン SPECIAL (講談社)
タイトル：らっけい
ペンネーム：酒田歩

漫画家になっちゃいました!!

平成20年3月に情報メディア学科を卒業した酒田あゆ美さんが、講談社マガジンSPECIALという月刊誌で、本年5月号より連載を開始しました。是非応援下さい。

情報メディア学科 2008年卒 酒田 あゆ美

「漫画家になっちゃいました」と報告すると、大学時代の私を知る人は、皆一様に驚きます。映像やグラフィックを専攻し、ゼミではWEB2.0の研究を兼ね、Movable TypeでのWEBサイト構築、FLASHサイト作成、アルバイトは授業補助員…と、ほぼ「情報漬け」の毎日で、しかも無遅刻無欠席のけっこう真面目な生徒だったからです。

実は3年次から編入した私は、その時からすでに、漫画家を目指していました。

ただ性格上、興味あることは何でもやってみたいというのと、人と触れ合って（ついだに人間観察をし）たいという気持ちがあったので、熱心に勉強には打ち込みましたし、それに応えてくれる環境がこの大学にはありました。とても感謝しています。

漫画の作業については、すべて自宅で行い、夏季休暇・冬期休暇の全ては漫画に費やしました。けっこう時間かかるんです、漫画って。

縁あって、今、商業誌で連載を獲得することができました。『らっけい』というタイトルで、北海道にある高校の酪農経営科を舞台にしたコメディです。ゼミ時代に作ったのも、「道の駅で乳製品を購入する旅を支援するサイト」であった私。何か牛に縁があるのでしょうか。

「地元に貢献したい」「興味ある分野はなんでも知りたい」「なにか人を楽しませることをしたい」——この3つを同時に叶えうる職業が、私にとっては漫画家だったのです。

連載漫画は読者のアンケートによって存続が決まります。これを読んで興味を持った方は、ぜひ読んでみて、面白かったら応援してください。



らけい
Happy Go Lucky!

ゴクゴクおいしく二気読み！巻頭カラー41P!!

入学式
にやがくしき
春はる



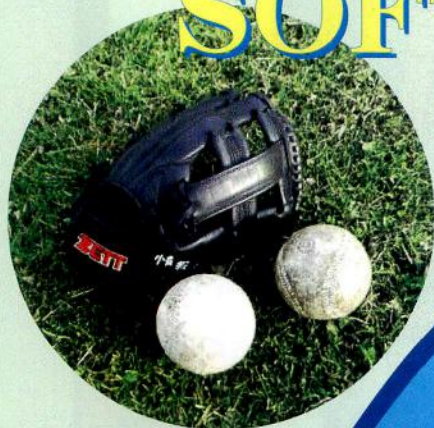
俺おれ
七飯久志は
ななえひさし

牛に
困まれています
かうし
かま



マガスぺに新風颯爽と登場！
まったりコメディ新連載!!

SOFT BALL同好会



はじめまして。ソフトボール同好会代表の斉藤雄太です。
ソフトボール同好会は7月にできたばかりで新しく、まだ、情報大生にもあまり知られていない同好会です。僕たちは、体育祭でソフトボールに参加し、終わったときに「もっとソフトボールしたい!!」と思い、友達や、そのときのメンバーで協力し、立ち上げました。

現在は、学校の草はらで部員みんなで決めた日に練習をしています。まだ立ち上げたばかりなので、道具も場所もなく困ることばかりですが、チームのみんなの協力を得て日々練習に励んでいます。

今年度は主に練習をし、個々の能力を高めたり、みんなとの連携を上手く取れるようにしていきたいと思います。

来年度は他大学との練習試合や、公式戦などにも積極的に参加し、日々の努力を発揮して、良い結果を残したいです。

みんなと楽しくソフトボールをし、最後にはみんなで「ソフトボール同好会作って良かったね!!」と言えるように、部活をより良いものにしたいです♪





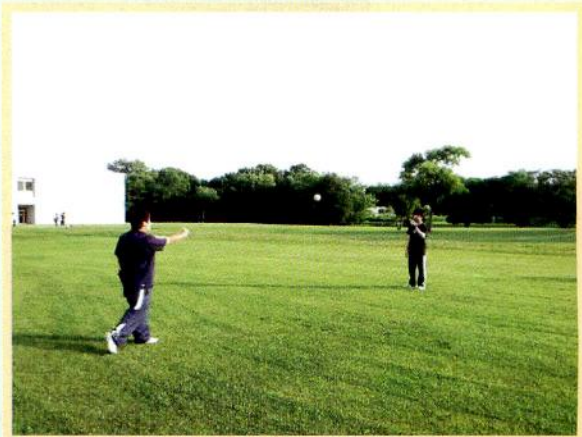
みんなで練習前のウォーミングアップで、キャッチボールをしています♪

ウォーミングアップ中は和気あいあいと話したりして、コミュニケーションをとります!!

ノックなどをできる人がやり、みんなで守備練習をしています!!

部員のみんなはとても明るく、みんな仲良く練習しています。できて間もないのにこの仲の良さにはびっくりです(笑)

これからまだまだ部員が増えて楽しくなるといいな~♪



☆ 部員大募集 ☆

野球、ソフトボール未経験者も大歓迎!! 楽しく部活がしたい!!

そういう方は、是非、ソフトボール同好会へ♪ お気軽にご連絡ください!!

メールアドレス: s0912077@rmme.do-johodai.ac.jp

SOFT BALL同好会

第3回 プログラミングコンテスト

システム情報学科 齋藤 健司



受賞者の四人

昨年度(平成20年度)に第三回プログラミングコンテストを実施しました。

説明・相談会(10月23日実施)でコンテストの趣旨や参加の方法、前回のコンテストの様子などを紹介し、11月14日の〆切で応募したところ一七件の作品が集まりました。

作品数は前回を若干下回ったものの、大学院とメディア学部から初の参加があり、少しづつ裾野がひろがってきていると感じられます。

一次審査で八件の作品を選出して12月8、9日の二日に分けてプレゼンテーションを実施し最優秀賞一名、優秀賞一名、奨励賞二名を選出し1月8日に表彰式を行いました。今回の上位作品は非常に努力のあとが見られ、アイデアやこだわりの感じられる良い作品となっています。

受賞作品を簡単に紹介すると、最優秀賞の「DrawToolライブラリ」はドロー系の描画を行うためのライブラリ、優秀賞の「蜜柑」は必要なファイルやアプリケーションに素早くアクセスするためのランチャーと呼ばれるソフト、奨励賞の「レポートのコピー&ペースト対策ソフトの試作」は検索ページと連携して、レポートのコピー&ペーストの可能性のある部位を特定するプログラム、最後の「Tunglr」はtumblrという情報発信サイトのサービスとGrowlと呼ばれる



最優秀賞の中田稔健君

れる通知サービスを連携させたアイデア作です。

特に最優秀賞と優秀賞の二作品に関しては、コンピュータに対する作者の強い要望と、これを自分のプログラムで解決しようとする意思が感じられました。そして実際に使用して作り込みを行い完成度を上げています。

今年度のコンテストでも多くの学生に参加してもらい、互いに切磋琢磨して、プログラミングの力を磨いてほしいと思います。

■受賞者

*最優秀賞(副賞五万円)

・「DrawToolライブブラ」

システム情報学科4年：中田 稔健

*優秀賞(副賞二万円)

・「蜜柑」

情報メディア学科：竹崎 一生

*奨励賞(副賞一万円)

・「レポートのコピー&ペースト対策ソフトの試作」

情報メディア学科：石井 裕太

・「Thung1r1」

大学院システムデザイン分野：

井上 喬視

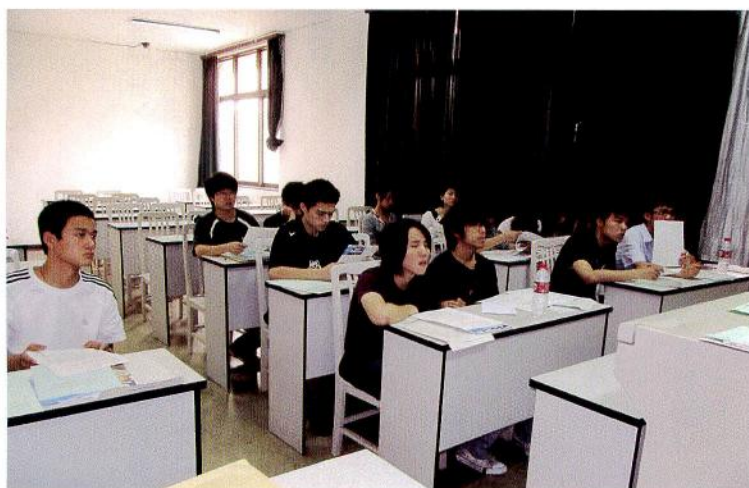
南京大学外国語学院留学準備クラス

聴講生 第一回入学試験実施委員会、南京出張報告記

教養主任 加藤喜久子

今回の南京行きは、
本語を学ぶための聴講生コ
ースの入学試験を実施する
ことである。中居聰土事務
局長、中村忠之教授（先端
経営学科主任）、森澤好臣教
授（システム情
報学科主任）、田
中英夫教授（情
報メディア学科）
と教養主任の加
藤（委員長、医
療情報学科）の
各委員と、古賀
朋子入試係長の
六名がその任務
にあたることに
なった。我々は、
6月19日（金）の
早朝、新千歳空
港で合流し、関
西国際空港から
上海経由で陸路、
南京に向かうこ

とになった。
ちょうど新型
インフルエンザ
の流行が話題と
なっていたが、
自分の乗った飛
行機で検査があ
るとまでは予想
していなかった。
ところが、それ
が現実となった。
上海に近づくと
乗務員が体温測
定器で二回の検
温を行った。や
がて上海空港に
到着したと思うと、
突然白い検疫用
防護服で全身を覆いマスクを
した検疫担当者が機内に入っ
てきて、熱のある人がいない
かどうかをチェックし始めた。
荷棚の後方から冷たい空気が



聴講生試験に合格した学生たち



機内での検疫風景

白煙となって吹き出し、乗客
達の多くが一斉にカメラやケ
ータイでその光景を写真に撮
り始めた。中国でも新型イン
フルエンザの水際作戦は展開

フルエンザの水際作戦は展開

フルエンザの水際作戦は展開

されていたのである。幸い足止めはなかった。

20日(土)は、南京大学で聴講生試験の準備(書類のチェック)と南京大学外国語学院IT日本語クラス(本学情報メディア学部編入生コース)の学生(四期生)を対象とする中間試験を行った。21日(日)の聴講生入学試験では、午前中「文字・語彙」、「文法・読解」、「小論文」の筆記試験と、午後

からは「面接」を実施した。面接は一日で終わらず、翌22日(月)の午前中までかかった。午後の合否判定会議の後に、合格発表を行った。今回は一二名が合格の栄誉を手にした。合格証を手渡し、引き続き留学説明会を実施した。

振り返ってみると、なかなかハードなスケジュールであった。一日目の小論文の採点は面接終了後ホテルにも

ジュール表を作成してくれる古賀さんによれば、中国では「臨機応変」にならざるを得ないという。今回も確かにそうであった。急遽聴講生に提出書類を整えてもらう作業が入り、編入生の中間試験室が変わり、編入生の中間試験室が更に変わった。そして、私とともに中間試験の監督にあたるはずであった田中先生は、聴講生への個別対応にまわることになった。さらに、合格した学生に対して私が

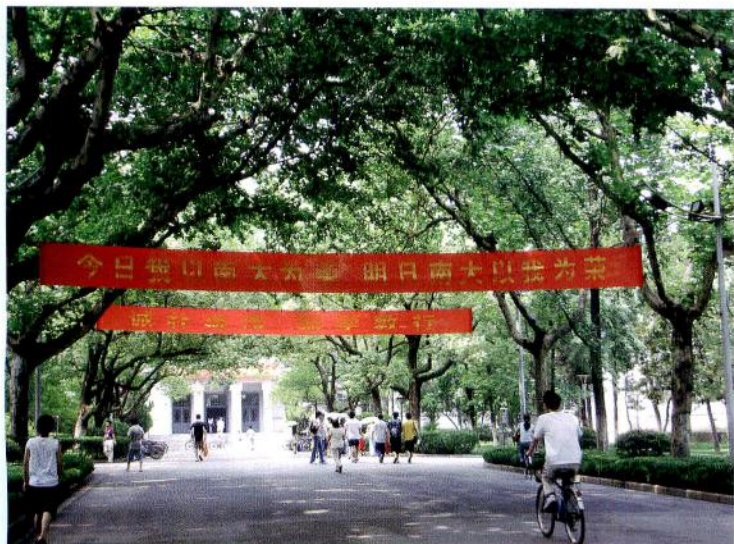
臨機応変のチームワークこそ、成功の秘訣であった。また、上海と南京、ホテルと大学の移動にあたっても多くの方にお世話になった。中国側関係者のご配慮ご厚意に深く感謝する次第である。
聴講生の来日予定は9月13日という。入学生が決まった喜びとともに、その責任の重さが肩に感じられた旅であった。



面接室風景

どってすませなければならなかった。私は、食事会でお酒を飲まなかったにもかかわらず、部屋にもどりに採点を始めたところ眠気がでてきて困った。食事の時にお酒の相手をされていた森澤先生は、食事の前にほぼ採点を終えておられたという(さすがです)。入試業務に通じ、いつも分刻みのスケ

説明を行う最中にも、南京大学の先生等への局長の表敬訪問の時間が重なり、田中先生の不在が生じた。だが、中間試験の監督では生活指導の先生が教室に残って下さり、聴講生への説明会では外国語学院副院長の汪平先生が来られて説明を中国語に訳して下さった。



南京大学キャンパス風景

「今日私は情報大を誇りとし、明日、情報大は私を誇りにする」
(今日我以信息大為榮、明日信息大以我為榮)

南京大学からIT日本語クラス3期生が本学に編入学

平成19年から実施している、中国南京大学と本学の間の実施している共同事業『IT・日本語クラス』の3期生が、平成21年4月、晴れて本学情報メディア学部三年次に編入学しました。

この共同事業は、南京大学で二年間ITと日本語の基礎を勉強し、その後本学情報メディア学部三年次に編入学します。本学で二年間、専門科目を修めて本学の卒業と学士の学位を

目指すというものです。今年の三期生は一五名です。5月末には、先輩留学生達と一緒に春の宿泊研修を計画しています。

保護者の会役員会を開催

平成21年度第一回北海道情報大学保護者の会役員会を5月28日(木)江別コミュニティプラザ「あおい」において開催いたしました。

平成20年度卒業生の就職率、平成21年度の就職指導スケジュールについて、学生サポートセンター事務室からは、平成21年度の学生生活指導の行事についての報告がなされました。

役員会終了後の懇親会においては、保護者の会役員と本学出席者との間で、学生生活、就職の状況等に関して率直な話し合いがなされました。

ご出席いただきました役員の皆様には、ご多忙にも係わらずお越しいただいたことを感謝いたします。

まず最初に長谷川学長から保護者の会に対するお礼を含め挨拶があった後、平成21年度新規役員候補者五名、欠員となっていた一名の推薦がなされ、全員が異議なく承認されました。次いで大学からの現況報告として、中居事務局長より、大学の沿革、育成する人材、教育環境の背景、大学の構成及び学部構成、競争的資金公募獲得状況、教育研究施設について、中村就職部長が



南京大学の日本文化研修一行が来学

今回で五回目となる南京大学からの日本文化研修は、7月3日から12日までの一〇日間、大阪、奈良、京都、東京、北海道を巡る行程で、南京大学教務部、邵進副部長を団長に、学生一七名、引率者二名、計二〇名が参加しました。

一行は、7月3日の昼過ぎに関西空港に到着し、午後は大阪城や奈良の東大寺を見学しました。

翌4日は京都の清水寺、平等院、源氏物語ミュージアムなどを見学した後に茶室での茶道体験もしました。また、夜は日本の

学、秋葉原での買い物、夜は東京タワーの特別展望室より夜景を楽しみました。

翌6日はEDC本社ビルを訪問し、中居常務理事はじめEDCグループの皆様の歓迎を受けました。午後からは羽田空港を飛び立ち北海道の旭川空港へ向いました。

翌7日は、ロープウェイで旭岳の中腹まで登り、姿見の池付近の残雪を踏みながらハイキングを楽しみ、お昼はおにぎり弁当を味わっていました。午後から吹上温泉で初めての露天風呂を体験するなど、北海道の雄大な自然に触れました。

8日は富良野のファーム富田でラベンダー畑を見学して、後藤純男美術館に向いました。後藤純男は中国（西安）とも関係の深い画家であることを館長より説明を受け、学生達も興味深く絵画鑑賞をしていました。午後、札幌に移動し、夜は札幌らーめんを食べ、JRタワーの展望室より札幌の夜景を楽しみました。

翌5日は京都より新幹線で東京に移り、東

翌9日は本学を訪問しました。午前中は長谷川学長

はじめ関係者の皆様の歓迎を受けた後、講堂に場所を移しYOSA KOKORO演舞を鑑賞しました。

本番でファイナルステージに進出した舞に歓声を上げ感動し、一緒になって踊っていました。午後には野幌の開拓記念館を見学した後、本学メディア学部の授業でも利用している北海道情報技術研究所の大スタジオでクロマキーの特撮体験を行いました。

大学に戻り、日本人学生とスポーツ交流や野外でのジンギスカンパーティなどで親睦を深めていました。

翌10日は積丹半島、神威岬、小樽を見学しました。初めて海を目の当りにする学生もおり、数歩進む度に周囲の景色に感激してカメラのシャッターを押し、時間ぎりぎりまで楽しんでいました。

翌11日は洞爺湖でランチクルーズ、昭和新山からロープウェイで有珠山にも登りました。ウインザーホテルで昨年度行われたサミットの写真展を見学し、夜はサッポロビール園でのさよならパーティで盛り上がり上がっていました。

翌12日に新千歳空港から両手で持てないほど多くのお土産を抱えて無事帰国しました。歴史ある日本の伝統文化を象徴する京都、近代化された東京、大自然の北海道と、今の日本を自分達の目で見て、肌で感じて中国へ戻って行きました。

研修旅行に同行して彼らから聞かされた共通の感想は、「日本を実際に訪れて、直接日本の文化や人に接することができて良かった。また訪れてみたい」と言うことばでした。



神威岬



旭日岳ハイキング



茶道体験

留学生、春の宿泊研修報告（紋別市立オホーツク青年の家）

平成21年5月30日（土）～5月31日（日）、留学生と日中異文化研究サークルの学生、引率教職

員の総勢三四名が紋別市立オホーツク青年の家で宿泊研修を行いました。



行程の途中

に旭山動物園

滝上芝桜公園

上湧別チュー

リップ公園を

見学しました。

学生たちは

車窓から遠く

に見える残雪

の連山や、緑

の森林、川沿

いの白樺林を

興味深く眺め、

また山一面の

芝桜や広大な

チューリップ

公園、山頂の

宿泊施設から

散歩範囲のオ

ホーツク海な

ど、彼らの故

郷中国の南京

地方では味わ

えない自然を満喫していま

した。

宿泊施設の

体育館では軽

スポーツ「イ

ンディアカ」

を行い競技自

体は皆、初心

者でしたが男

女、学年を超

えて楽しく試

合に熱中し、

チームワーク

の大切さを再

認識していま

した。

また、風呂場

が狭いおかげ

で、普段より

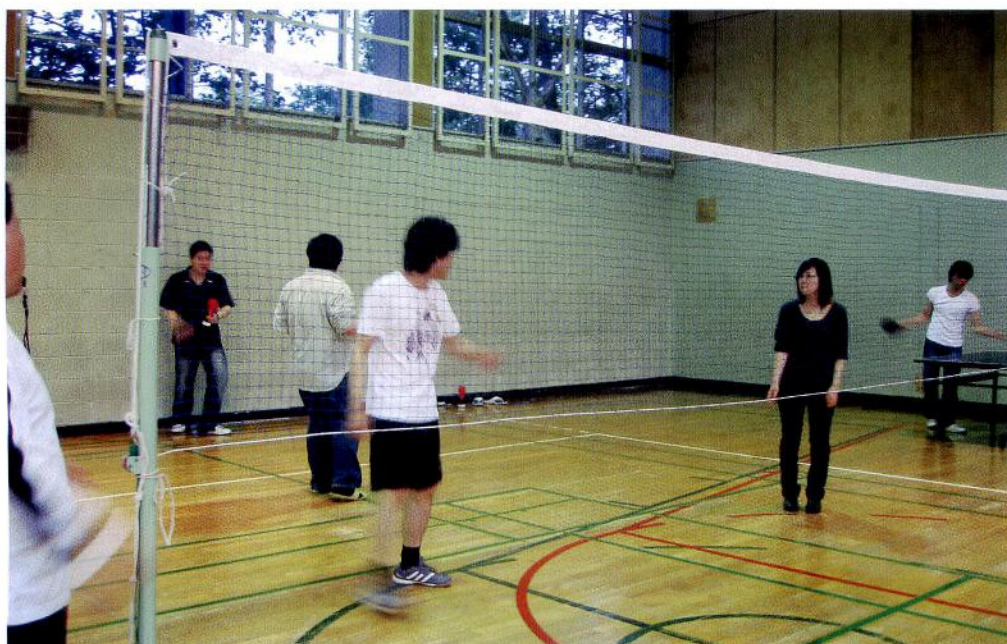
親しく会話を

する機会もあ

りました。

夜の親睦会では、トランプの

ルール説明や雑談を引率者に理



内での会話より熱心に日本語で話す努力をしていたようです。

寝具、部屋、トイレ、洗面所

学生サポートセンターより



など使用後の清掃や整理整頓を行うルールやマナー指導などは、宿泊研修の経験がある先輩留学生が後輩留学生に指示している光景も見ることができました。

おかげさまで彼らにとって有意義な宿泊研修を実施することができました。



編集後記

もう、8月になるというのに、寒い日が続きます。さて、今回の第四六号学内報は、総ページ数四〇ページと今までにないボリュームとなっており、メインはやはり、南京大学との交流ですが、学内コンテストの表彰、外部で多くの賞を受賞する学生の記事も多くあります。今後も学内報を通して、学生の功績をみなさんに発信していきたいと思えます。(S)

学内報について、ご意見、ご要望などがございましたらnanakamado@do-johodai.ac.jpまでお寄せ下さい。

学生サポートセンターより

くじけず、頑張ろう就カツ!

昨秋のリーマン・ショック以降、就職活動は激変しました。現四年生の就職活動は、一年前とは全く異なる状況となっています。本学の現状としては、求人数は昨年度比約二五%の減少、内定率は約一〇%減少と大変厳しい状況になっています。既に三〇社近く受験して、全て不合格という学生も出てきています。

さて、昨年末から今年初めにかけて、景気減速によるいわゆる「派遣切り」がニュースに取り上げられ、非正規雇用の人々が職を失うという事実に向面しました。我々はよく学生に対して、正社（職）員での就職を勧めますが、奇しくも今回の雇用状況の激変という社会現実により、いかに正規雇用での就職が大切かという事実を再認識させられました。

それでは、このような雇用環境の中、就職活動中の現四年生はどのようにすれば良いでしょうか？一つは学生サポートセンターを積極的に活用するという

方法があります。学生サポートセンターには求人情報の提示、就職に関するあらゆる相談を受



北海道情報大学・北海道情報専門学校 合同企業説明会 (6月4日実施)

け付けています。困ったことがあれば、気軽に入室してください。もう一つは、自分の希望職種・業種・勤務地をもう少し広げてみることです。今まで、ある職種に絞って活動していた、勤務地にこだわって活動していたという人は、もう少し視野を広げてみてはいかがでしょうか？
こだわりの持つて就職活動をするのも大切なことかもしれませんが、正規雇用で就職するということも大事なことです。職業能力の多くは仕事を通じて形成され、若いときの方がその効果も大きいと思います。つまり、語弊があるかもしれませんが、まずは就職して、どんな仕事でも一生懸命取り組んでみる、という姿勢も大事かもしれません。



経営情報学部
先端経営学科

遠藤ゼミ



本ゼミには四年生が一人、三年生が八人所属しています。本ゼミのテーマは小売業と外食業の経営戦略やマーケティングのあり方です。

小売業はメーカーと比較して、とても差異化しにくいところですが、そのため価格競争になりやすいといえます。小売業では、価格以外で競合他社と差異化することは難しいことなのでしょうか。また外食業では、他産業と比較してしまだうまくマーケティングできていない企業が多いように思います。多くの顧客を抱えるところでも、たとえば顧客のニーズを探索し、適切に対処できている企業は少ないのではないのでしょうか。

こうした点をもとに、ケーススタディとスーパーマーケットのフィールドワークを通して小売業の戦略を考えます。また購買情報の分析などに利用される基本的なデータ解析のしかたも学びます。

ゼミ活動の付録としては、毎回ゼミ生から最近発売された新製品を紹介してもらい、メーカー側へのインタビュなどを通して品評も行っています。

情報メディア学部
情報メディア学科

大島ゼミ



本ゼミでは、オリジナルの映像コンテンツ制作をテーマに、ゼミ生各自が独自のアイデアに基づいた作品制作に取り組んでいます。現在四年生は、2Dアニメーション、実写と手描きアニメーションの合成、ストップモーションアニメーション、実写によるミュージックビデオ、歴史的建築物の記録映像、3DCGによるキャラクターデザイン等、各々が興味を持つ映像表現について技術的、表現法的な研究をしながら作品制作を進めています。

毎週のゼミでは、三年生の前期に講義の中で世界各国の様々なアニメーション作品や映像作品を鑑賞したり、実技課題を通じて、映像表現における理論や基礎的な技法についての実習を行っています。その一環として、最近では、照明や撮影セットを組んだ本格的なストップモーションアニメーションの制作実習(写真)も行いました。三年生の後期からは、各自オリジナルのコンテンツ制作に向けて、企画から実制作までを段階的に進めて行きます。作品の制作においては、自分の思い描くイメージを如何に視覚化するかというプロセスを大切にしています。

ゼミの雰囲気は、講義の時間外でも私も交えて、新しい映像やアニメーション表現について話をしたり、研究室で参考の図版を読んだり、作業をしたりと和気藹々としています。

アニメーションや映像作品の制作は、大変時間や手間のかかる作業です。その中で自分なりに創意工夫すること、思い思いのアイデアを実現することで、発想力や表現力を養い、よりクオリティの高い作品制作を目指してゼミ生、教員共に日々奮闘中です。



木戸数大君、

TOEICで高得点

経営情報学部教授

竹内 典彦



5月下旬に札幌市内で開催されたTOEIC公開テストで、本学システム情報学科4年生の木戸数大君が五九五点のスコアを獲得しました。近年、公開テストを受けた情報大生の中では、トップクラスのスコアと言ってよいと思います（平均的情報大生の英語力は二〇〇点〜四〇〇点くらいです）。

木戸君は昨年のUCSCで実施された語学研修である「海外事情」に参加していました。

木戸君は次のように話しています。「中学、高校の時はむしろ英語は嫌いでした。海外事情に参加したとき、外国の人と話をするためのツールとして、英語にとっても興味を持ちました。最初は現地スタッフの人に話しかけられても、何を言っているのかわかりませんでした。当時の自分の英語力はとても不足していた

と思います。日本に帰ってから、ひたすら単語を書き込んで覚えるところから始めました。リスニングは車の運転をしているときにCDを何度も聴きました。それと、Facebookという世界的なSNSで外国の人とチャットをしたり、メッセージの交換をしました。今回五九五点をとりましたが、まだまだ社会的には高い点数と言えないので、今後も勉強を続けて、在学中に八〇〇点、最低でも七〇〇点以上はとりたいと思います。卒業後は海外に行き見聞を広めて、将来的には国際交流に関係する仕事に、身を置きたいと思っています」

木戸君は現在Jゼミにも参加して、TOEIC対策を中心に学習しています。大きな目標に向かって走り続ける木戸君の今後の活躍に、大いに期待したいと思います。

平成21年度 北海道情報大学 公開講座開始

本学では、地域貢献の一環として、本年度も江別市と札幌市近郊にお住まいの皆様を対象とした公開講座を実施しております。本学在学学生・卒業生・ご父兄の方もご参加いただけますので、興味のある方は、本学教務課までお問い合わせください。

なお、本年度から小学生が対象となっている講座以外はすべて有料となっておりますことをご了承ください。皆様のご参加をお待ちしております。

【問い合わせ・申込先】北海道情報大学 教務課（公開講座担当）

- ・電話 : 011-385-4427 (直通)
- ・ファックス : 011-384-0134 (代表)
- ・e-mail : hiukouza@do-johodai.ac.jp (メールアドレスが変更になりました)

No.	講座名	場所	講師	講座日程	開講時間	回数	受講料	対象	定員	申込期間
1	これからの経済・産業・経営	本学	本学教授 角井穆	4月25日(土)	14:00~15:30	全1回	500円	一般	40名	3月30日(月) ~4月10日(金)
2	初めてのデジタルカメラ	札幌 サテライト	本学非常勤講師 北島優	5月10日(日), 17日(日), 24日(日), 31日(日)	14:00~16:00	全4回	1,000円	一般	30名	4月16日(木) ~4月27日(月)
3	食と健康シリーズ (さっぽろバイオクラスター (Bio-S) 合同市民公開講座)	札幌 サテライト	本学教授 西平順	5月12日(火), 6月9日(火), 7月14日(火), 8月4日(火), 9月8日(火)	18:30~20:00	全5回	1,000円	一般	30名	4月16日(木) ~4月27日(月)
4	デジタルビデオ編集体験講座	本学	本学准教授 向田茂	5月30日(土), 6月27日(土), 7月4日(土), 11日(土), 18日(土), 25日(土)	9:30~12:30 ※ただし、6月 27日, 7月4日, 11日のみ 9:30~15:30 (昼休憩1時間 含む)	全6回	10,000円	一般	20名	5月1日(金) ~5月15日(金)
5	流通を学ぼう	札幌 サテライト	本学教授 坂本英樹	6月15日(月), 22日(月), 29日(月), 7月6日(月)	18:00~19:30	全4回	1,000円	一般	30名	5月18日(月) ~5月29日(金)
6	3次元コンピュータグラフィックス 入門	本学	本学准教授 高井那美	6月20日(土)	13:30~15:30	全1回	500円	一般	30名	5月25日(月) ~6月5日(金)
7	フォトショップ始めの一步 入門編	本学	本学非常勤講師 北島優	7月2日(木), 9日(木), 16日(木)	18:30~20:30	全3回	1,000円	一般	30名	6月5日(金) ~6月17日(水)
8	パソコンで季節のグリーティング カードを作っちゃおう!	本学	本学客員准教授 川上正博	7月18日(土), 9月5日(土), 10月24日(土), 12月5日(土)	13:30~15:30 ※ただし、9月 5日のみ 10:00~12:00	全4回	1,000円	一般(小学生以上のお子様と一緒に参加可)	30名	6月22日(月) ~7月3日(金)
9	コンピュータを通して古典文学を読む	本学	本学准教授 齋藤康彦	7月25日(土)	13:30~15:30	全1回	500円	一般	30名	6月29日(月) ~7月10日(金)
10	夏休みビデオ編集体験講座	本学	本学准教授 向田茂・安田光孝	8月1日(土), 8日(土)	9:30~17:00 (昼休憩1時間含む)	全2回	無料	小学3年生 ~小学6年生	10名	7月6日(月) ~7月17日(金)
11	夏休み自由研究教室 ~ロボットで理科を学ぼう~	本学	本学准教授 棚橋二郎	8月15日(土)	13:00~17:00	全1回	無料	小学校高学年 とその保護者	18組 (各組 最大6 名まで)	7月17日(金) ~7月31日(金)
12	マーケティングを学ぼう	札幌 サテライト	本学教授 坂本英樹	8月24日(月), 31日(月), 9月7日(月), 14日(月)	18:30~20:00	全4回	1,000円	一般	30名	7月27日(月) ~8月7日(金)
13	クレイアニメ 「カラー粘土を使って動画絵本を 作るう!」	本学	彫刻家 原田ミドー	8月31日(月), 9月1日(火), 2日(水)	10:00~15:00 (昼休憩1時間 含む)	全3回	1,000円	本学メディア デザイン専攻 の1年生~2年 生および一般	20名	7月27日(月) ~8月7日(金)
14	地域学講座 「ふるさと江別の歴史と文化・ 再発見」	本学	本学教授 原陣之・立花峰夫 本学准教授 安田光孝 元本学教授 羽田野正隆	9月5日(土), 12日(土), 19日(土), 26日(土) ※9月5日のみ現地学習 (バスツアー)	14:00~15:30 ※ただし、9月 5日のみ 14:00~16:00	全4回	1,000円	一般	40名	8月3日(月) ~8月21日(金)
15	レベルアップ! フォトショップ 中級編	本学	本学非常勤講師 北島優	10月1日(木), 8日(木), 15日(木)	18:30~20:30	全3回	1,000円	一般	30名	9月4日(金) ~9月16日(水)
16	ネットビジネス閑話	札幌 サテライト	本学教授 中村忠之	10月6日(火), 13日(火), 20日(火), 27日(火)	18:00~19:30	全4回	1,000円	一般	30名	9月7日(月) ~9月18日(金)
17	ベンチャービジネスを学ぼう	本学	本学教授 坂本英樹	10月19日(月), 26日(月), 11月2日(月), 9日(月)	18:00~19:30	全4回	1,000円	一般	40名	9月18日(金) ~10月2日(金)
18	パソコン入門	本学	本学准教授 広奥暢 本学非常勤講師 北島優	11月5日(木), 12日(木), 19日(木), 26日(木)	18:00~20:00	全4回	1,000円	一般	30名	10月9日(金) ~10月21日(水)
19	カウンセリングの舞台裏	札幌 サテライト	本学教授 蔵本信比古	11月24日(火)	18:00~19:30	全1回	500円	一般	30名	10月29日(木) ~11月9日(月)
20	インターネットを使って無料で学 ぶ英語	本学	本学講師 田中洋也	12月2日(水), 9日(水), 16日(水)	18:00~19:30	全3回	1,000円	一般	30名	11月5日(木) ~11月17日(火)
21	大麻とタバコとアルコール	札幌 サテライト	本学教授 中林秀和	12月17日(木)	18:00~19:30	全1回	500円	一般	30名	11月20日(金) ~12月2日(水)

大学主要行事等

＜4月1日～7月20日＞

◆◆ 教職員の動向 ◆◆

《教員》

■4月1日付

◎就任

学長	長谷川 淳
副学長	富士 隆二
経営情報学部長	林 雄二
通信教育部長	中村 鎮雄
情報センター長	中岡快二郎
保健センター長	西平 順
学習支援センター長	穴田 有一
学生部長	三浦 洋
先端経営学科主任	中村 忠之
システム情報学科主任	森澤 好臣
情報メディア学科主任	山北 隆典
教養主任	加藤喜久子

◎採用

特任教授	加納 邦光 (医療情報学科)
教授	木村 達也 (先端経営学科)
教授	上杉 正人 (医療情報学科)
准教授	飯嶋美知子 (情報メディア学科)
講師	大島慶太郎 (情報メディア学科)

◎昇任

教授	坂本 英樹 (先端経営学科)
教授	三浦 洋 (情報メディア学科)
教授	山北 隆典 (情報メディア学科)
准教授	棚橋 二郎 (システム情報学科)

◎配置換

先端経営学科	教授	嘉数 侑昇
先端経営学科	教授	長井 敏行 (医療情報学科)
医療情報学科	教授	原 暉之 (先端経営学科)
情報メディア学科	教授	関 正治 (システム情報学科)
情報メディア学科	教授	藤井 敏史 (医療情報学科)
システム情報学科	教授	谷川 健 (先端経営学科)
システム情報学科	准教授	豊田 規人 (先端経営学科)
システム情報学科	准教授	中島 潤 (情報メディア学科)
システム情報学科	准教授	長尾 光悦 (医療情報学科)

《職員》

◇法人本部◇

■4月1日付

◎昇任

東京事務所主任	玉井 徹
東京事務所主任	高橋 祥子

◇大学事務局◇

■4月1日付

◎兼務

学習支援センター事務室長	近藤 始
保健センター事務室長	田中 正喜

◎昇任

広報室課長補佐	小松田昭人
広報室課長補佐	檜物 敏昭
通信教育部事務部企画係長	笠羽 弘城

■6月20日付

◎採用

会計課課長補佐	橋本 充浩
---------	-------

■6月30日付

◎退職

会計課	齋藤 洋美 (旧姓 袴谷)
-----	---------------

◆◆ 主要行事 ◆◆

◇法人本部◇

5月18日(月)～22日(金) 監査法人トーマツ「平成20年度決算監査」
21日(木) 評議員会・理事会

◇大学◇

4月 1日(水) 辞令交付、学長就任挨拶
3日(金) 平成21年度入学式
6日(月)～11日(土) スタートアッププログラム
9日(木) 経営情報学部教授会
10日(金)～11日(土) 新入生宿泊研修
13日(月) 前期開講
17日(金) 情報メディア学部教授会
24日(金) 全学教授会
5月12日(金) 経営情報学部教授会
22日(金) 情報メディア学部教授会
23日(土) 月曜授業実施日
28日(木) 保護者の会役員会
29日(金) 全学教授会
6月 3日(水) 学内共同研究成果発表会
5日(金) RMIT-HIU合同Webデザインコンテスト報告会
10日(水) 創立記念日
12日(金) 経営情報学部教授会
13日(土) 水曜授業実施日
14日(日) A O入学試験 (A日程)
18日(木)～19日(金) 体育祭
19日(金) 情報メディア学部教授会
26日(金) 全学教授会
7月10日(金) 経営情報学部教授会
17日(金) 情報メディア学部教授会

◇大学院◇

3月27日 研究科委員会
4月 3日 研究科委員会
6日 学位論文等研究計画発表会
9日 大学院特別科目等履修生説明会
18日 教育センター長推薦入学試験
23日 研究科委員会
5月30日 推薦入学試験
7月 6日 研究科委員会

◆◆ 主な来学者 ◆◆

7月 9日(木) 南京大学日本文化研修御一行 (学生17名、引率3名)
17日(金) タイ王国ラジャマンガラ工科大学 (工学部長ほか2名)

◆◆ 広報活動 ◆◆

<進学相談会>

4月：北海道11会場 (小樽、岩見沢、苫小牧、室蘭、函館、旭川(2)、札幌、北見、釧路、帯広)
埼玉県 1会場 (埼玉)
5月：北海道 9会場 (紋別、枝幸、帯広、北見、釧路、札幌(2)、函館、旭川)
青森県 3会場 (弘前、八戸、青森)
岩手県 1会場 (盛岡)
秋田県 1会場 (秋田)
千葉県 1会場 (千葉)
埼玉県 1会場 (さいたま)
6月：北海道21会場 (稚内(3)、浦河、函館、富良野、羽幌、北見、釧路、帯広、網走、中標津、八雲、小樽、室蘭、苫小牧、旭川、札幌(2)、名寄、千歳)
青森県 1会場 (青森)
岩手県 1会場 (盛岡)
埼玉県 1会場 (埼玉)
東京都 1会場 (東京)
7月：北海道 1会場 (札幌)
埼玉県 1会場 (埼玉)
東京都 2会場 (東京(2))

<高校内ガイダンス>

4月：北海道 4校 (深川東高校、滝川西高校、札幌大谷高校、上川高校)
埼玉県 1校 (東野高校)
東京都 1校 (杉並学院高校)
神奈川県1校 (横浜創学館高校)
5月：北海道 6校 (檜山北高校、静内高校、平取高校、七飯高校、富川高校、札幌龍谷学園高校)
栃木県 2校 (作新学院高校(2))
千葉県 1校 (横芝敬愛高校)
東京都 3校 (関東第一高校、東京実業高校、豊南高校)
神奈川県4校 (横浜学園高校、横浜清風高校、橘学苑高校、武相高校)
5月：北海道30校 (駒澤大学附属岩見沢高校、仁木商業高校、札幌厚別高校、札幌東豊高校、札幌光星高校、札幌南陵高校、札幌稲雲高校、旭川実業高校、札幌静修高校、旭川大学高校、札幌丘珠高校(2)、札幌北陵高校、旭川龍谷高校、札幌創成高校(2)、当別高校、音更高校、北広島西高校、蘭越高校、双葉高校、恵庭南高校、静内農業高校、札幌大通高校、清里高校、武修館高校、俱知安高校、クラーク記念国際高校(大通キャンパス)、北海学園札幌高校、伊達高校)
埼玉県 5校 (小松原高校、本庄第一高校、細田学園高校、武蔵越生高校、埼玉栄高校)
千葉県 2校 (敬愛学園高校、千葉明德高校)
神奈川県2校 (相洋高校、向上高校)
7月：北海道 5校 (北海道高校、岩見沢東高校(定時)、クラーク記念国際高校(本校)、北海道栄高校、札幌白石高校)
埼玉県 2校 (浦和学院高校、花咲徳栄高校)
東京都 2校 (杉並学院高校、東村山高校)

<高校出張講義>

5月：北海道 1校 (富川高校)
6月：北海道 1校 (札幌新陽高校)

<高校訪問>

4月：北海道63校、埼玉県11校、千葉県1校、東京都9校、神奈川県4校
5月：北海道217校、青森30校、栃木県1校、群馬県1校、埼玉県4校、千葉県3校、東京都5校、神奈川県4校
6月：北海道70校、岩手県30校、秋田県30校、群馬県1校、東京都6校、神奈川県1校
7月：北海道253校、青森県30校、岩手県30校、秋田県30校、埼玉県2校、東京都2校

<オープンキャンパス>

4月19日(日) 本学
5月23日(土) 北見、釧路、函館
24日(日) 旭川、帯広
6月28日(日) 本学

<AO入試・奨学金説明会>

6月 7日(日) 本学
<教員対象大学説明会>
6月26日(金) 東京

<広報室来学者>

4月22日(水) 上ノ国高校 (教員1名)
5月11日(月) 東海大学付属第四高校 (学生1名、保護者1名)
6月 5日(金) 上川高校 (大学見学：学生44名、教員3名)
5日(金) 下川商業高校 (大学見学：学生1名)
12日(金) 旭川龍谷高校 (大学見学：学生5名、教員1名)
12日(金) 遠別農業高校 (教員1名)
18日(木) 旭川明成高校 (大学見学：学生11名、教員1名)
19日(金) 江別高校 (大学見学：学生22名、教員1名)

※編集後記は
33ページに
掲載しまし
た。